

2021年(令和3年)度用

## 山川の中学歴史教科書内容解説資料



## 目次

著者メッセージ	p.3
『中学歴史』目次と配当時間例	p.4
歴史を学ぶ力を養う3つのポイント	
ポイント1 流れをつかむ	p.6
ポイント2 歴史を考える	p.10
ポイント3 世界を知る	p.16
+α さらに深い学びへ	p.18
教育基本法との対応	p.20
検討の観点	p.21
『中学歴史』と高校教科書との対照表	p.23
準拠ノート	p.24
教師用指導書および付属データ集	p.28
授業用スライド&ワークシート	p.30
指導者用デジタル教科書	p.32
トータルサポート	p.34
中学校向け映像・音声教材	p.36

本資料は「教科書宣伝行動基準」に則り、配布を許可されているものです。



山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13  
TEL03-3293-8131 FAX03-3292-6469

# ついに登場！ 山川出版社の 中学歴史教科書！

## 新課程に向けた 新しい教科書への挑戦

高校の歴史教科書を手がける山川出版社は、新課程における歴史教育に向け、中学校での歴史教育を重視する必要性を感じました。文部科学省の新課程で身につけさせたい資質・能力の三つの柱（①学びに向かう力、人間性など ②思考力、判断力、表現力など ③知識及び技能）や、学び方（主体的・対話的で深い学び）は、早い時期に習得すればするほど慣習化し、身につくものだと考えます。山川出版社が高校生向けに培ってきた歴史教育の深い学びのためのクオリティーを、この『中学歴史 日本と世界』の教科書に注ぎ込みましたので、是非ご覧ください。

## 高校につながる教科書

高校で山川の歴史教科書（『詳説日本史』『詳説世界史』など）を学ぶ生徒に向けた中学校教科書をめざしました。

### 構成・叙述の流れ

高校の教科書と全体の流れをあわせ、かつ生徒が理解しやすく、興味を持つよう工夫しています。文章は分かりやすい表現を心がけています。

### 史料や図版

高校の教科書で使用している史料や図版・地図などを中学生が理解できるよう易しく紹介しています。史料にはポイントを押さえるための発問をつけたり、イメージを膨らませるためのイラストなども用いています。

### 思考力を養う

新課程の高校「歴史総合」「歴史探究」の科目は、歴史的思考力を養うことが求められています。そのための基礎を中学で習得するために最適な教科書です。

### 資質・能力の三つの柱



# 中学歴史 日本と世界

歴史708

AB判 296頁 予価 775円



教科書の表紙写真は、大槻玄沢編『蘭学佩觿』（東京都 静嘉堂文庫蔵）。オランダ語の書体、つづり、発音をまとめた折本。1799（寛政7）年に芝蘭堂主人吉川良祐の尽力で刊行、1811（文化8）年に大槻玄幹が増補して再刊。蘭学の初学者が、文字とつづりを覚え、練習するために用いられた。

### 【編者】

橋場 弦 東京大学教授  
桜井 英治 東京大学教授

### 【著作者】

池田 嘉郎 東京大学准教授  
板垣 暁 北海学園大学教授  
市川 大祐 北海学園大学教授  
岩淵 令治 学習院女子大学教授  
小倉 真紀子 北海道大学准教授  
鐘江 宏之 学習院大学教授  
谷本 晃久 北海道大学教授  
長井 伸仁 東京大学准教授  
橋本 雄 北海道大学准教授  
村木 二郎 国立歴史民俗博物館准教授  
守川 知子 東京大学准教授  
吉澤 誠一郎 東京大学教授  
渡辺 美季 東京大学准教授  
渡邊 宏明 浅野中学校・高等学校教諭  
柿沼 亮介 早稲田大学高等学院教諭  
菊池 陽太 開成中学校・高等学校教諭  
鈴木 健史 豊島岡女子学園中学校・高等学校教諭  
高橋 哲 渋谷教育学園幕張中学校・高等学校教諭  
松本 英治 開成中学校・高等学校教諭  
株式会社 山川出版社

### 【編集協力者】

馬場 基 奈良文化財研究所史料研究室長

## Message



橋場 弦 (はしば ゆづる)  
東京大学教授

歴史という教科を学ぶ中学生が、日本だけではなく世界の歩みをも平易に理解できるような教科書をつくるのは、専門家にも難しい作業です。

歴史を学ぶ意味は、私たちとちがう時代や地域に生きた人々に出会うことをとおして、自分自身を理解することにあります。それは必ずしも外国の人々とは限りません。日本列島の歴史を振り返っても、そこには今日の私たちからみても異なる、さまざまな文化や価値観をもった人々が生きていました。また日本列島に住む人々は、古代から周辺の大アジア世界の影響を深く受け、のちには欧米諸国を模範として近代化への道を歩きました。

自国のことしか知らない人は、その自国のこともじつはよく理解していない、といわれます。この教科書では、世界の歴史からみた日本の位置をわかりやすく説明するようにつとめました。

グローバル化の進んだ現在の世界は、地域紛争や格差の拡大、地球環境の破壊など、さまざまな問題に直面しています。世界がどのような姿になったのか、その諸問題がどのような背景から生じてきたのかを、この教科書からぜひ学びとって欲しいと思っています。



桜井 英治 (さくらい えいじ)  
東京大学教授

私たちは、大人の入り口に立つ中学生のみなさんに、ぜひ歴史的なモノの見方や考え方を身につけてほしいと願っています。今の私たちの生活や技術は一朝一夕にできたわけではなく、何世代にもわたる先人たちの努力や試行錯誤の積み重ねにほかなりません。このごく当たり前の事実を思いをはせて欲しいのです。また、人類は成功ばかりでなく、多くの失敗も繰り返してきました。現代に繋がることなく減っていった文明もたくさんあります。そのような失敗や滅亡の原因を考えることも大切な勉強でしょう。

一方、美しい自然や限りある資源は今生きている私たちだけのものではなく、まだ生まれてきていない未来の世代のものでもあります。過去と未来の双方を見通すことで、私たち一人一人の人生も長い人類史の一部であることを知るでしょう。それは、これから大人になり、社会を背負ってゆく中学生にとって、とても大事な経験です。私たちは、この教科書をおしてその瞬間によりそいたいと考えています。

高校では、近現代史を中心に講じられる「歴史総合」という新しい科目も待っています。そのときにあわてないためにも、私たちの教科書で前近代史からしっかりと学び、さらに「日本史探究」「世界史探究」を学ぶ際に役立つ思考力のベースを、身につけてほしいと思います。

## 第1章 歴史との対話

- 1節 私たちと歴史
- 2節 身近な地域を調べよう

## 第2章 古代までの日本

### 1節 世界の諸文明

- 1 人類の誕生と進化
- 2 古代文明の始まり
- 3 地中海文明の発展
- 4 中国文明と東アジア
- 5 宗教のおこり
- 2世紀の世界

### 2節 日本文化のあけぼの

- 1 氷河時代の終わりや縄文文化の誕生
- 2 稲作の広まりと弥生文化
- 歴史へのアプローチ① 中国の記録に見る日本列島
- 3 古墳とヤマト政権

### 3節 律令国家の形成

- 1 聖徳太子の政治改革と飛鳥の文化
- 2 律令国家への道
- 3 律令国家の仕組みと人々の暮らし
- 4 平城京と天平文化
- 地域からのアプローチ① 奈良
- 8世紀の世界

### 4節 貴族政治と国風文化

- 1 平安京と弘仁・貞観文化
- 2 摂関政治と地方社会
- 3 東アジアと国風文化
- 歴史を考えよう① 平安京と京都の町を考える
- 地域からのアプローチ② 福岡

まとめ

## 第3章 中世の日本

### 1節 中世社会の成立

- 1 荘園の成立と武士の登場
- 2 院政と武士の成長
- 地域からのアプローチ③ 平泉
- 3 鎌倉幕府の成立と執権政治
- 4 武士の日常・民衆の生活
- 5 鎌倉時代の文化
- 歴史を考えよう② マンガの源流、絵巻物を考える
- 歴史へのアプローチ② 東西ユーラシアの動き
- 13世紀の世界

配当時間

## 2節 武家社会の成長

- 1 モンゴルの襲来と鎌倉幕府への失望
- 2 南北朝の動乱と室町幕府の成立
- 3 東アジアと日本の国際関係
- 歴史へのアプローチ③ 琉球の歴史と文化
- 歴史へのアプローチ④ アイヌ民族の歴史と文化
- 4 産業・流通の発達と都市・農村の変化
- 歴史を考えよう③ 関所を考える
- 5 応仁の乱と戦国大名
- 6 室町時代の文化

まとめ

## 第4章 近世の日本

### 1節 一体化へ向かう世界

- 1 ルネサンスと宗教改革
- 2 大航海時代とヨーロッパの海外進出
- 3 ユーラシア大陸と海でつながる世界
- 16世紀の世界

### 2節 近世社会の成立

- 1 ヨーロッパ人との出会い
- 2 信長・秀吉の全国統一
- 3 豊臣秀吉の政策
- 4 桃山文化

### 3節 幕藩体制の確立

- 1 江戸幕府の全国支配
- 2 江戸時代の社会の仕組み
- 3 江戸時代初期の外交と貿易
- 4 江戸時代の対外関係

### 4節 幕藩体制の展開

- 1 農業・諸産業の発達
- 2 交通・流通の発達と三都
- 3 幕府政治の安定と元禄文化
- 歴史を考えよう④ 江戸図屏風を読み解く

### 5節 幕藩体制の動揺

- 1 貨幣経済の発展と享保の改革
- 2 田沼時代と社会の変化
- 3 寛政の改革と対外的な危機
- 歴史へのアプローチ⑤ 都市の暮らしと名所
- 4 新しい学問と化政文化
- 5 内憂外患と天保の改革
- 18世紀の世界
- 地域からのアプローチ④ 金沢

まとめ

## 第5章 近代の日本と国際関係

### 1節 欧米諸国の近代化と日本への接近

- 1 市民革命の時代
- 2 産業革命と社会の変化
- 3 アメリカの発展とロシアの東方開発
- 4 欧州列強のアジア侵略

### 2節 開国と幕末の動乱

- 1 開国と条約締結
- 2 貿易の開始と攘夷運動
- 3 江戸幕府の滅亡

### 3節 立憲国家への道

- 1 明治維新から中央集権国家へ
- 歴史へのアプローチ⑥ 国家とは何か
- 2 富国強兵と殖産興業
- 歴史を考えよう⑤ 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える
- 3 文明開化と欧米文化の導入
- 4 明治初期の対外関係
- 歴史へのアプローチ⑦ 近代日本と女子留学生
- 5 自由民権運動と国会開設
- 6 憲法制定と帝国議会

### 4節 日清・日露戦争とアジア

- 1 欧米の帝国主義
- 2 初期議会と条約改正
- 3 日清戦争
- 4 日露戦争と東アジア
- 5 日本の大陸進出と辛亥革命
- 歴史へのアプローチ⑧ 日本の植民地

### 5節 近代日本の産業と文化

- 1 日本の産業革命と経済の発展
- 地域からのアプローチ⑨ 札幌
- 2 都市と農村の変化
- 3 明治の文化と教育

まとめ



## 第6章 二つの世界 大戦と日本

### 1節 第一次世界大戦と日本

- 1 第一次世界大戦と国際関係
- 2 ロシア革命
- 3 ヴェルサイユ条約と国際関係
- 4 アジアの民族運動
- 5 大正デモクラシーと政党内閣の成立
- 歴史へのアプローチ⑨ 1920年代の日本経済
- 6 社会運動の高まりと普通選挙法の制定
- 歴史を考えよう⑥ 第1回普通選挙の実態を探る
- 7 大衆文化の発展とその背景

### 2節 国際協調の崩壊

- 1 世界恐慌とその対応
- 2 ファシズムの台頭
- 3 昭和恐慌と政党政治への反発
- 4 軍部の台頭
- 5 日中戦争と国家総動員法

### 3節 第二次世界大戦と日本

- 1 第二次世界大戦
- 2 太平洋戦争の始まり
- 3 戦時下の国民生活
- 4 戦局の悪化と戦争の終結
- 地域からのアプローチ⑩ 広島

まとめ

## 第7章 現代の日本と世界

### 1節 戦後の日本と国際社会

- 1 占領下の日本
- 2 日本国憲法と民主化
- 歴史を考えよう⑦ 大日本帝国憲法と日本国憲法
- 3 冷戦の時代とアジア・アフリカの独立
- 4 独立回復と日米安保条約
- 歴史へのアプローチ⑩ 日本の領土の変遷
- 5 国際関係の変化と日本の外交
- 6 高度経済成長と公害問題
- 7 戦後昭和の社会と文化

### 2節 新たな時代の日本と世界

- 1 冷戦の終結
- 地域からのアプローチ⑦ 沖縄
- 2 今日の世界
- 3 今の日本、これからの日本

まとめ

合計 132時間  
予備 3時間  
135時間

# 歴史を学ぶ 力を養う 3つのポイント

中学生のための

## 1. 流れをつかむ → p.6

歴史の理解は流れをつかむことで深まります。見開き1単元をベースに、それぞれの歴史的事象の、時代背景や状況、結果、その後の影響などを丁寧に記しています。章扉や章末のまとめ頁には、時代ごとの流れもわかるような工夫をこらしています。

## 2. 歴史を考える → p.10

豊富な発問によって、歴史が変化する過程でおこる諸課題を意識する「歴史的な見方・考え方」が身につきます。

## 3. 世界史を知る → p.16

世界史も含めた歴史全体の流れをつかむことも大切です。日本史のみでなく、各時代の世界の状況を通観し、理解できるよう工夫しています。

# 1. 流れをつかむ

## 1単元、見開き2頁構成で歴史の流れが無理なく学べる

1 導入の発問 ▶ 2 歴史の本質をおさえ た本文 ▶ 3 図版・史料を読み解く発問 ▶ 4 まとめ・ステップアップ

1 各単元の冒頭に、その単元を理解するための発問を付し、この単元を学習するなかで考えて欲しい課題を示しています。

### 先生へのお薦め!

- ①この単元でなにを学ぶのかを考えさせます。
- ②今まで習ってきたことから、導入の発問の仮説を考えさせます。
- ③授業を進めるなかで、ときどき導入の発問を振り返らせます。

基本的に1単元見開き2頁。授業時間数135で無理なく学べる構成です。単元ごとの基本の色彩を日本史・世界史でわけ、今学んでいることが日本のことか世界のことが、すぐわかる工夫をしています。

2 本文は歴史の本質をおさえ、各時代をバランスよく、わかりやすく説明しています。

### 先生へのお薦め!

- ①文章を読みながら、歴史の変化とその繋がりを理解させます。
- ②読んだうえで、整理して流れを考えさせます。

教科書の内容をより深めるコラムを設けました。

3 図版は大きく、みやすく、生徒に考えて欲しいところに発問を付し、どこに注目すべきかの示唆を与える工夫をしています。図版や史料には番号を付し、本文と関連づけをしています。

また、地図・グラフなどはカラーユニバーサルデザインに配慮し、読み取りやすい表現方法での作図を心がけました。世界遺産や国宝の写真はマークで示しています。

歴史上の人物について、エピソードなども盛り込んだ人物コラムを設けました。

歴史を学ぶ際、史料は重要です。中学生にもわかるような口語訳にしています。高校の教科書に出てくる史料を中学生のうちにみて慣れておくことは重要です。

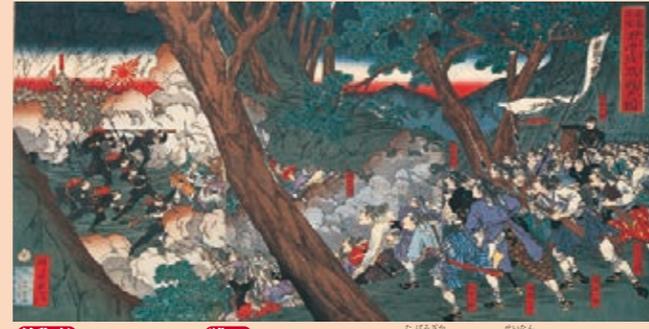
→ p.23 高校教科書との対照表参照

生徒にとって意味のわかりにくい用語には用語解説を付しました。同じ頁に示すことで、すぐに理解できます。

4 授業のまとめ、さらなる課題追究に向け、ステップアップの発問を用意しました。

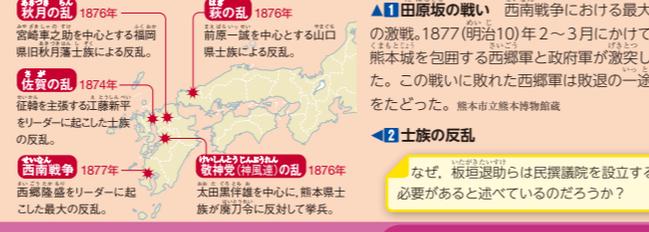
### 先生へのお薦め!

- ①授業で学んだことを整理し流れをつかませます。
- ②この単元で学んだ内容は、その後の歴史にどのように影響するか考えさせます。
- ③この単元で学んだ内容が現代の私たちに影響していることがあるか考えさせます。
- ④単元の内容から、前提・結果・影響という筋道をとることができればパーフェクト!



**4 民撰議院設立の建白書** (一部要約)

私どもがつつしんで現在政権がどこにあるかを考えてみますのに、上は皇室にもなく、下は人民にもなく、ただ官僚に独占されています。……法律・命令があまりにも多く、朝出は夕方には改まるありきまで、政治は私情によってなされ、賞罰はその人に対する愛憎で決まり、言論の道がふさがれ、困苦のありさまを訴えることもできません。……そこでこれ(国家の崩壊)を救う方法をたずね求めてみましたが、ただ天下の世論をのぼすばかりではありません。天下の世論をのぼすには、民撰議院を立てるしかありません。すなわち、官僚の権力を制限してこそ、上下の者が安全と幸福を受けることができるでしょう。(『日新真事録』)



**1 田原坂の戦い** 西南戦争における最大の激戦。1877(明治10)年2~3月にかけて、熊本城を包囲する西郷軍と政府軍が激突した。この戦いに敗れた西郷軍は敗退の一途をたどった。熊本市立熊本博物館蔵

**2 土族の反乱** なぜ、板垣退助らは民撰議院を設立する必要があると述べているのだろうか?

**5 自由民権運動と国会開設**

●政府への不満は、どのようなかたちで現れたのだろうか?

**自由民権運動の始まり** 征韓論を主張していた西郷隆盛や板垣退助らが政府を辞職すると、政府では大久保利通が政治を主導した。これに対し、板垣らは1874(明治7)年に民撰議院設立の建白書を政府に提出した。建白書には、大久保中心の政治への批判や国会開設の要求が記されており、国民が政治に参加する権利の確立を目指す自由民権運動が土族を中心に始まった。

**土族の反乱** 廃刀令などで多くの特権を失い、政府への不満を強めていた土族は、九州地方を中心に各地で反乱を起こした。その中でも最大規模の反乱が、1877(明治10)年に起きた西南戦争である。この反乱は政府を辞職して鹿児島に帰郷していた西郷隆盛を中心とした反乱で、政府に不満をいだく鹿児島の人々によって起こされたが、政府は徴兵令に基づく新しい軍隊を投入して反乱を鎮圧し、敗れた西郷は自害した。西南戦争を最後に土族の反乱はおさまり、以後の反政府運動は武力ではなく、言論で戦う自由民権運動が中心になっていった。

**自由民権運動の高まり** 板垣退助らは、1874(明治7)年に高知で立志社を設立し、自由民権運動に賛同する民権派を全国的に組織化することを目指していた。このような動きに対し、政府は府や県に議会を設け、地主(豪農)や商工業者の積極的な政府支持を得よう

**五日市憲法** 自由民権運動が盛んであった五日市(現在の東京都あきる野市)では、千葉卓三郎を中心に憲法草案が作成された。これを一般的に「五日市憲法」と呼んでいる。特徴は全204条という条文の多さ、国民の権利の保障に力点を置いていることにある。このような私擬憲法は全国で約100種近くあるとされ、運動の広がりを知ることができる。



▲五日市憲法が発見された土蔵

**人物**

**1 西郷隆盛(1827~77)と大久保利通(1830~78)**

西郷・大久保はともに明治維新の立役者であったが、幕末の動乱にひときりがやっていたのは西郷であった。新政府軍を指揮し、勝海舟との会談で江戸無血開城を実現するなど、その軍事的功績は抜群であり、明治維新という「革命」期の指導者であった。一方、大久保は明治国家「建設」期の指導者であった。内務卿として殖産興業政策を指導し、富国の実現につき進んだ。1878(明治11)年5月14日の朝、大久保は来客に対して、こう述べている。維新からの10年は創業の10年、これからの10年は建設の10年、その後は、後進にゆずって引退したいと。しかし、それから間もなく内務省への出勤途中に大久保は暗殺される。大久保が「建設の10年」にたずさわることにはなかった。



西郷隆盛



大久保利通

改革を進めて自由民権運動に対抗した。しかし、地主や商工業者は議員となることでかえって政

地主や商工業者が参加した自由民権運動は1880(明

全国の民権派が大団に集まって、国会期成同盟

自由民権運動が盛り上がる中、国会期成同盟の

法の私案(私擬憲法)がつくられた。

府内でも、民権派が主張する国会開設や憲法制

の必要性については、おおむね意見が一致して

10 いた。そうした中で、大久保利通の死後に政府の中心となっていた大隈重信は、2年後の国会開設や議院内閣制の採用などを主張した。しかし、大隈の急進的な主張が十分な相談もなしに行われたこともあって、伊藤博文らに不信をいだかせることになった。

15 こうした中、政府が北海道の開拓使が保有する施設を不当に安い価格で政商に売却しようとしていたことが発覚し、民権派による政府批判が強まった。大隈が売却に反対していたこともあり、伊藤らは民権派の背後に大隈がいると

時に、民権派の政

に国会を開設する

20 いい、この結果、

ことになった。

民権派は国会開設に備えて、政党を結成し始めた。1881(明治14)年に板垣退助が立志社を中心に自由党を結成すると、翌82(明治15)年には大隈重信が立憲改進黨を結成した。しかしその後、政府による弾圧な

25 どもあり、自由民権運動は一時的に弱体化することになった。



**▲川上音二郎のオペベペー節** 自由民権運動において、演説の主張に節をつけて歌ったことから、演歌という言葉が生まれた。自由黨員であった川上音二郎の「オペベペー節」はその代表例である。ベケは駄目という意味で、政治や習慣の欠点(駄目なところ)を歌って評判となった。

「オペベペー歌入及大」 東京都 江戸東京博物館蔵

▲自由民権運動の演説会 東京都 国立国会図書館蔵



聴衆・警官・弁士の三者に着目し、当時の演説会の様子についてどのようなことが読み取れるだろうか?

**用語解説**

**民権派** 自由民権運動に賛同する人々のこと。当初は土族が中心であったが、のちに地主(豪農)や商工業者が加わった。

**議院内閣制** 内閣総理大臣が国会議員の中から選ばれるなど、内閣が国会(主に衆議院)の支持によって成り立つ制度。

なぜ、議院内閣制が急進的であると伊藤博文らは反対したのだろうか?

**ステップアップ**

なぜ人々は議会をつくることを求めたのだろうか?



# 1. 流れをつかむ

# 章全体をとおして、時代の流れを理解することができる

章扉 ▶ 各単元の時代や 場所を確認 ▶ 章まとめ頁で復習・確認

## 時代の流れをつかむためのポイント



### 1 章扉の帯年表をチェックする!

章のはじめに、これから学ぶ時代の日本と世界の出来事を**帯年表**で確認できます。一つ一つの単元が、その時代全体のどのあたりのことなのか、振り返るためにも、帯年表は利用できます。

### 2 章扉の写真で視覚的に章のイメージをインプットする!

章扉では、章で扱う日本史と世界史に関係する写真

を、上下にわけて時代順に示し、**視覚的に流れをつかませる工夫**をしています。

### 3 各章末の「まとめ」で復習!

「まとめ」では、章で学習した単元全体の推移・因果関係などに着目させたり、比較させたりする**発問**を用意しています。これによって、各時代の流れ・特徴を深く確認することができます。

生徒が復習・確認する頁

準拠ノートでは、さらに丁寧に復習できるように6頁で用意しています。  
→ p.24 参照

## 第5章 近代の日本と国際関係

17世紀から19世紀半ばにかけて、市民革命・産業革命を達成した欧米列強は、アジアへの進出を本格化させ、インドやベトナムなどの多くの国が欧米列強の植民地となります。日本も「鎖国」から開国へと転じ、幕末の動乱の中で、明治維新が起こりました。欧米列強と同じような文明国になることを目標に、「富国強兵」「殖産興業」「文明開化」などのスローガンを掲げ、近代化を達成していきます。1889(明治22)年には大日本帝国憲法を公布し、その翌年には帝国議会が開かれました。日清戦争・日露戦争を経て、1911(明治44)年には不平等条約の改正に成功します。欧米との関係が、日本の政治・経済・社会・文化にどのように影響したかを学びましょう。

## 5 近代の日本と国際関係 まとめ

### 1 欧米先進諸国はどのようにして近代化を達成したのだろうか

● イギリス・アメリカ・フランスは市民革命によって、政治・社会がどのように変化したか。[ ]内の語句を用いてまとめてみよう。

イギリス	アメリカ	フランス

● 地図に、以下の事項を記入して、欧米先進諸国の世界分割の様子をまとめてみよう。

イギリス・フランス・オランダ・アメリカの植民地となった地域を、それぞれピンク色・むらさき色・緑色・青色でぬってみよう。

### 2 日本が開国することになった背景と、その経過をまとめてみよう

背景	
政治の変化	
経済の変化	
幕府滅亡への経緯	

### 3 明治政府はどのような近代国家をつくろうとしていたのだろうか

● 明治政府の教育・軍事・税制の点で、どのような改革をしたかを江戸時代と比較してまとめてみよう。

江戸時代の状況	教育	軍事	税制
改革の内容			
改革の目的			

● 江戸時代の生活と明治時代の生活を比較してみよう。

江戸時代の生活	
明治時代の生活	

● 大日本帝国憲法についてまとめてみよう。

明治政府がつくった理由	
憲法の特徴	

### 4 日清戦争・日露戦争を比べてみよう

	開戦の理由	展開	日本への影響
日清戦争			
日露戦争			

### 5 世界と日本の産業革命についてまとめてみよう

● 産業革命で、経済・社会がどのように変化したかを以下の語句を用いてまとめてみよう。

[ 工業 資本主義 ]

● 産業革命の結果、どのような問題が生じたかを具体的に説明してみよう。

## 第5章 近代の日本と国際関係 まとめ

### 1 欧米先進諸国はどのようにして近代化を達成したのだろうか

● イギリス・アメリカ・フランスは市民革命によって、政治・社会がどのように変化したか。[ ]内の語句を用いてまとめてみよう。

[ 身分 市民 ]

いずれの国においても、人々は何らかの身分に属し、身分に応じて義務と権利が定められていたが、市民革命を通じて、そのような身分制を撤廃し、人々が自由で平等な市民として国の政治に参加するようになった。

● イギリス・アメリカ・フランスで市民革命がどのように達成されたかをまとめてみよう。

イギリス	アメリカ	フランス
国王と議会の対立から、ピューリタン革命・共和革命が起こった。二つの革命を通じて、国王の権力が制限され、議会の権限が拡大された。三権分立・連立制が確立された。		
イギリスからの一方的な課税に植民地の人々が反発したこと。戦争が起こり、植民地が独立宣言を求めた。独立したアメリカ合衆国は、人民主権・三権分立・連立制などを柱とした合衆国憲法を制定した。		
国王が専断者や貴族に新たな課税をしようとしたところから、後の反乱が起った。平民を中心に新たな代議院が起った。平民を中心に新たな代議院を設立して、身分制を廃止し、人民主権を確立した。		

● 地図に、20世紀初葉における欧米先進諸国の世界分割の内容をまとめてみよう。

### 2 日本が開国することになった背景と、その経過をまとめてみよう

背景	欧米列強の船が貿易を求めて日本に近づいてくる中、アメリカが通商や捕鯨を行う上での寄港地を得るために日本に開国を求めた。
政治の変化	天皇の権限の弱まりを背景に尊王攘夷運動が盛んになり、また、外様大名などが政治に関与するようになった。
経済の変化	「開国」政策を転換し、外国との貿易が始まった。
幕府滅亡の経緯	幕長同輩を結んでいたことで、幕府が弱体化したこともあり、再度の長州出兵に幕府は失敗した。政治的混乱が続く中で倒幕派は大政奉還を行い、幕府は滅びた。

### 3 明治政府はどのような近代国家をつくろうとしていたのだろうか

● 明治政府の教育・軍事・税制の点で、どのような改革をしたかを江戸時代と比較してまとめてみよう。

江戸時代の状況	教育	軍事	税制
改革の内容	寺子屋での読み・書き・そろば	幕府による武士(大名など)の給与	村ごとに米で納税
改革の目的	字制の公布	徴兵令の公布	地租改正の施行

● 江戸時代の生活と明治時代の生活を比較してみよう。

江戸時代の生活	火皿火鑪の使用、蓑・袴、肉食を避ける
明治時代の生活	火皿・火鑪の廃止、都市を中心に欧米文化の流入(れんが造りの洋風建築、洋服、肉食など)

● 大日本帝国憲法についてまとめてみよう。

明治政府がつくった理由	憲法は文明の象徴であり、条約改正を行う上での重要な前提条件と考えたため
憲法の特徴	天皇主権、戦争の開始と終了を条約の締結などの天皇権限を明記、三権分立など

### 4 日清戦争・日露戦争を比べてみよう

	開戦の理由	展開	日本への影響
日清戦争	日本が提示した朝鮮の国内改革案をめぐる対立。	日本は民間と海軍が協力して戦争に臨む。清は国内の軍隊をまとめて指揮する体制が乏しい。日本の勝利に終わる。	下関条約を結び、2億圓の賠償金を清に要求。台湾・澎湖島を獲得。
日露戦争	ロシアが満州から撤兵せず、日本が韓国権益を脅かされているため。	アメリカ・イギリスからの経済的支援を受けた日本が戦いを優位に進め、日本海海戦にも勝利した。	ポーツマス条約を結び、ロシアは韓国への日本の指導・監督権などを認める。

### 5 世界と日本の産業革命についてまとめてみよう

● 産業革命で経済・社会がどのように変化したかを以下の語句を用いてまとめてみよう。

[ 工業 資本主義 ]

● 産業革命の結果、どのような問題が生じたかを具体的に説明してみよう。

資本家と労働者との間で富の格差が拡大し、とりわけ、工場や炭坑で働く労働者は劣悪な環境の中で働かされた。さらに、環境・公害問題も発生した。イギリスではロンドンのテムズ川が汚染され、都市の人々の生活状況を悪化させた。日本では足尾銅山から流れ出した鉱毒が濃尾川に流出して、流域の農業や漁業に大きな被害を出した。

# 2. 歴史を考える

## 調べ学習のスキルを身につけ、豊富な発問で思考力を養う

- 1 調査・まとめ・発表のスキルを身につける ▶ 2 豊富な問いかけを考える ▶ 3 時代全体を振り返って考える

1 第1章「歴史との対話」では、「1 私たちと歴史」で、歴史を考えるために必要な年代のあらわし方を学んだうえ、「2 身近な地域を調べよう」で、生徒が自ら気付いたり、疑問に思ったりしていることを調べる方法を紹介します。

### 1 テーマを設定しよう!

調査は、どのようなテーマで取り組むかを考えることから始まります。身近な地域の歴史について、何に興味や関心を持って気付いていることはありませんか、グループで話し合ってみましょう。そこから、テーマにつながる新たな疑問が生まれてくるはずですよ。

学校がある道灌山という地名は、江戸時代最初につくった太田道灌に由来するらしいね。

学校の周りには、このあたりは武家屋敷だっけって書いてあったよ。



### ①インターネットで昔の地図を見てみた

インターネットは、手軽に調べることができる便利なツールです。まずは、テーマに関する語句を検索して、情報を集めてみましょう。また、地域にある図書館や博物館などの最新の情報を確認することもできます。



▲横津・谷中・白幡里・豊島辺 (江戸時代) 東京都 国史館蔵  
昔の地図を見ると、その当時の地域の様子がよく分かります。また、異なる時期の地図を比較してみると、土地がどのように利用されていたか、その地域の変化をたどっていくことができます。

### 調査のスキル

- 古い地図を入手するには  
● 昔の地図は地域の博物館や図書館などに所蔵されている。所蔵しているか、利用できるか、問い合わせてみよう。  
● 都市などの場合、古い地図をまとめた図書がある。また、昔の地図の閲覧や異なる時期の地図の比較ができるウェブサイトがある。

### 調査のスキル

- インターネット上にはさまざまな情報があり、個人的な意見に過ぎないものなど、信頼性にばらばらな情報も少なくない。  
● ウェブページの信頼性は、だれがどのような目的で発信しているのか、記述の根拠がはっきりしているかを判断しなければならない。



「後行右京大夫」「道灌山」と書かれたところが、学校のある場所だね。

うとちがって、道灌は田んぼに囲まれているね。おぼろげに、今でも残っているんじゃないかな。

### ②聞き取り調査をしよう

聞き取り調査とは、調査している地域に住んでいる人やわし人などから、テーマに関わる話を聞くことです。昔の地域の様子について、経験に基づいた貴重な証言が得られることもあり、有効な調査方法です。

### 調査のスキル

- 聞き取り調査の注意点  
● どのような人にどのようなことを聞くかを考え、事前に質問表をつくっておく。  
● 話を聞かせていただく人に電話などで面談の希望を伝え、了解を得て日時を決める。  
● 撮影や録音は、事前に許可を得る。聞き取り作業は質問者と記録者に役割を分けるとよい。  
● 一つの事実でも人によって印象が異なる。ほかの調査による裏付けが必要な場合もある。

### ①レポートにまとめよう

調査した内容をまとめることは、文献名や話を聞かせていただいた人などの情報の出所とともに、カードに書き添えてメモして整理しましょう。カードの記述を基に、いくつかの項目に分けて全体の構成を考え、レポートにまとめましょう。

### 調査のスキル

- レポートの書き方  
①タイトル  
テーマの内容が分かるように、疑問文(～か)で簡潔な文章にする。  
②テーマの設定理由  
なぜこのテーマにしたのか、どこに興味・関心があるのかを書く。仮説がある場合は、ここに書く。  
③調査の方法  
どのようなことを明らかにするために、どのような調査を行ったかを簡潔に書く。  
④調査によって分かったこと  
調査によって分かったことを、見出しを付けて項目ごとにまとめる。地図や写真、表やグラフは、それぞれに見出しを付ける。  
⑤まとめ(調査の結論)  
調査の結論を整理して書く。疑問文で設定したテーマの答えとなるようにする。不透明な点や反省点があれば、ここに書く。  
⑥参考文献  
参考文献の書き方に従って書く。

### 調査のスキル

- 参考文献  
● 参考文献とは、作成にあたって参考にした図書やウェブサイトなどをいう。記述が裏付けを持つものか、読み手が判断する材料となる。  
● 参考文献は、図書の場合は発行元、ウェブページの場合はURLを確認して、以下のように書くのが一般的である。図書の場合：著者名「書名」出版社。出版年  
ウェブページの場合：発信者名「ウェブページ名」(URL) (アクセス年月日)

### 調査のスキル

- 引用と盗用  
● 必要があれば、他人の文章を「」を用いて引用できる。ただし、何から引用したかを書くこと、引用部分がレポートの中心でないことが条件である。  
● 他人が作成した表・グラフなどを引用する場合は、見出しの部分に何から引用したかを書く。  
● 他人が書いた図書やウェブページの文章の「丸写し」や「コピー(コピーアンドペースト)」をすることは、絶対にやってはいけない。引用になることが著作権法で定められている。



### 調査のスキル

- スライドのつくり方  
● 1枚のスライドで伝えたいメッセージは一つにしぼる。  
● スライドは文章より語句やグラフ・写真などのほうがわかりやすい。  
● スライドは簡潔にして口頭でしっかり説明しよう。

### ②発表しよう

調査したことを、プレゼンテーションソフトを利用してクラスで発表してみましょう。分かりやすい伝え方を意識して、発表の構成を考えてスライドを準備します。発表後、質疑応答を行うことで、より学習を深めることができます。

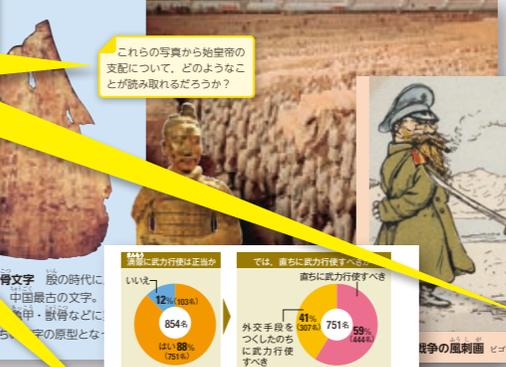
### 調査のスキル

- 分かりやすい伝え方  
● 全体の構成を考えて、最初に聞き手が関心を持つ話題を提示するよう。  
● 専門用語などは、知らない聞き手が分かるように説明を工夫する。  
● 聞き手のほうを見ながら、よく聞こえる声ではっきりとスムーズに話す。

写真・風刺画・グラフや表から、どのようなことが読み取れるか？  
このような問いかけをとおし、高校の新課程科目「歴史総合」への足がかりとして中学校で思考力を身につけておくことは重要です。

2 歴史が変化する過程でおこる諸課題がどのように解決され、積み重なってきたのかを学べるよう、豊富な発問を用意しています。

なぜ起きたのか？ どのようにおこったのか？ どのように変化したか？ どのような影響を与えたのか？  
このような問いかけを考えることは、歴史的思考力を養います。



▲海州事変前の東京大学の学生に対する意識調査  
政府は戦線の不拡大を声明したにもかかわらず、なぜ国民は軍事行動を広く支持したのだろうか？

政府は戦線の不拡大を声明したにもかかわらず、なぜ国民は軍事行動を広く支持したのだろうか？

工場法の衆議院で禁止されていたのは何だろうか？

農村法令(一)の施行は、男女の衣服など立派にしてはならない。一、男女の衣服については、これ以前からの法で定められているように、庄屋は絹・縮・麻布・木綿を着用せよ。一般の百姓は麻布・木綿を着用することとする。これ以外のぜいたくな衣料は、えりや帯などのところでも用いてはならない。一、専業主婦でも、私領でも、木田畑にたばこを栽培しないように申し付けろ。(農林省令)

①百姓のぜいたくをいまだめているのはなぜだろうか？  
②たばこの栽培を禁じているのはなぜだろうか？

1 荘園の成立と武士の登場  
①どのように荘園が全国的に広まっていったのだろうか？  
②源氏が東国で大きな力をにぎることができたのはなぜだろうか？

2 鎌倉幕府の成立と執権政治  
●承久の乱によって鎌倉幕府と朝廷の関係がどのように変化したのだろうか？

3 モンゴルの襲来と鎌倉幕府への失望  
●モンゴルの襲来は、日本にどのような影響をあたえたのだろうか？



日本はどのような状況に置かれていたのだろうか？

工場法の衆議院で禁止されていたのは何だろうか？

農村法令(一)の施行は、男女の衣服など立派にしてはならない。一、男女の衣服については、これ以前からの法で定められているように、庄屋は絹・縮・麻布・木綿を着用せよ。一般の百姓は麻布・木綿を着用することとする。これ以外のぜいたくな衣料は、えりや帯などのところでも用いてはならない。一、専業主婦でも、私領でも、木田畑にたばこを栽培しないように申し付けろ。(農林省令)

①百姓のぜいたくをいまだめているのはなぜだろうか？  
②たばこの栽培を禁じているのはなぜだろうか？

1 荘園の成立と武士の登場  
①どのように荘園が全国的に広まっていったのだろうか？  
②源氏が東国で大きな力をにぎることができたのはなぜだろうか？

2 鎌倉幕府の成立と執権政治  
●承久の乱によって鎌倉幕府と朝廷の関係がどのように変化したのだろうか？

3 モンゴルの襲来と鎌倉幕府への失望  
●モンゴルの襲来は、日本にどのような影響をあたえたのだろうか？

難しいような史料も、発問をつけることで、なにを読み取ればよいかわかります。

## 第3章 中世の日本 まとめ

### 1 農村にいる武士の立場で考えよう

●あなたは農村をまとめる武士です。最近隣村の人々があなたの領地に立ち入ってきます。あなたはどうに対応するでしょうか。だれをたよれば効果的か考えながら、対応策を練ってみよう。

時代	対応策
鎌倉時代	将軍に自らの領地の支配を保障してもらう。
南北朝時代	
室町時代	
戦国時代	

### 2 農村にいる農民の立場で考えよう

●あなたは農民です。今年は天候が悪く、農作物の育ちが良くありませんでした。自分たちの生活を守るために、何ができるでしょうか。だれからの支配を受けていたのかを考えながら、対応策を練ってみよう。

時代	対応策
鎌倉時代	
南北朝時代	農民たちで結束して年貢の軽減を荘園領主に訴える。
室町時代	
戦国時代	

3 章のまとめ頁では、時代全体を俯瞰して考えさせるための問いかけを用意しています。古代・中世・近世・近代といった中にも時代の歴史的転換点があり、変化していくことをもう一度考えることができます。

# 2. 歴史を考える

# 美術作品や史料を読み解く力、現代や地域と歴史を繋げる力を養う

- 1 美術作品や史料で課題を話し合い、考察する ▶ 2 地域の歴史をさまざまな角度から考える

1 「歴史を考えよう」では、美術作品や史料・地図、また、現代の私たちにとっても、身近で大切な憲法や選挙などを取り上げて、歴史の「思考力」を養うためのさまざまな工夫をしています。

2 「地域からのアプローチ」では、奈良・福岡・平泉・金沢・札幌・広島・沖縄を取り上げ、地域をととした歴史学習を紹介しました。地域の歴史について、特定の時期だけに注目するのではなく、各時代の歴史の展開や、文化財保護の取り組みをふまえて理解させることで、歴史を学ぶことの現代的な意味を考えさせます。

### 歴史を考えよう ④ 江戸図屏風を読み解く

江戸図屏風は、17世紀前半の徳川家光の治世にあった江戸の様子をえがいた絵画です。インターネットを利用すると、所蔵する国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)のホームページで、全体から細部までの画像を見ることが出来ます。

1 江戸城と大名屋敷を読み解く

江戸城を見てみよう。どのような構造をしているだろうか。登城した大名はどのような感じだろうか。

2 江戸城に入る行列を見てみよう。何の行列だろうか。どのような目的でやってきたのだろうか。

3 建ち並ぶ大名屋敷を見てみよう。大名の名前がどのように書かれているだろうか。屋敷の配置にはどのような特徴があるだろうか。

### 歴史を考えよう ② マンガの源流、絵巻物を考える

1 『伴大納言絵巻』

絵巻物とは、絵と文章(詞書)から構成され、絵と文字の組み合わせという点では、現代のマンガに通じる芸術作品ともいえます。その発祥は奈良時代にあつたとされますが、盛んにつくられるようになるのは平安時代後期です。説話や伝記、戦記など、その内容は多岐で、さまざまな情報の伝達手段となっていました。そのような絵巻物が、中世において盛んにつくられるようになったのはなぜか、考えてみましょう。

2 『鳥獣戯画』

3 『石山寺縁起絵巻』

細部をクローズアップしてみると、その表情や、人々の生活など、いろいろとみえてくるのがわかります。

『伴大納言絵巻』

『伴大納言絵巻』の制作年代は12世紀後半で、絵の作者は常盤光長、詞書筆者は飛鳥井雅経とも藤原教長とも考えられているが確定はしない。866(貞観8)年に起こった応天門の火(平安時代)に大納言であった伴善男が流罪となった事件(題材とする。応天門が放火されるという事件があり、はじめ左大臣の「善男が犯人として処刑されることになった。しかし、子どものけんかをきっかけにうわさが広まり、大納言の伴善男が真犯人である(放火をして罪を隠蔽にすりつけようとした)ことが判明し、その結果、伴善男が流罪となった、という展開をえがく。)

絵巻物がつくられたのは、題材となった事件(応天門の火)から約300年もたった12世紀と考られています。絵巻物の作者は、なぜ300年も前の事件を題材にしたのだろうか。

『石山寺縁起絵巻』

石山寺に伝わる『石山寺縁起絵巻』第1〜3巻は14世紀前半に制作された。石山寺の起源、天皇家・貴族の尊厳、寺の僧侶の事績などを記す。石山寺の縁起(始まりや由来)を文章で著した作品は古代からあつた。それを基に中世になると絵を加えて絵巻が制作された。

ここに挙げた場面は、徳川武士の使者が大事な文書を落とす。石山寺の僧の教えに従うことで、別の場所(宇治)で文書を見つけたという物語の一場面。

文章で著した作品から絵巻への変化が生まれたのはなぜだろうか。だれに読んでもらいたかったのかを意識しながら、考えてみよう。

江戸図屏風の場合、国立歴史民俗博物館のサイトを見ることが出来る二次元コードをつけました。教科書全体で18ヶ所に、博物館・資料館のホームページや動画をみたり、音声を聞いたりすることができる二次元コードを付しています。

### 地域からのアプローチ① 奈良

1 地図・地名から考えよう

2 地面の下にひそむ世界から考えよう

3 東大寺の歴史から考えよう

インタビューをとおして発掘調査と歴史の関係を紹介します。

木簡からは、歴史書では伝わらない下級官人の世界を知ることが出来ます。考古学と歴史学のつながりについて考えさせることができます。

「歴史を考えよう」ラインナップ

- 1 平安京と京都の町を考える
- 2 マンガの源流、絵巻物を考える
- 3 関所を考える
- 4 江戸図屏風を読み解く
- 5 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える
- 6 第1回普通選挙の実態を探る
- 7 大日本帝国憲法と日本国憲法

# おもな地域事例

※「日本の世界遺産」が見返しについています。

## 近畿

- 三重県：唐人踊り (p.127)
- 滋賀県：安土城 (p.114)
- 京都府：教王護国寺講堂不動明王像 (p.51)、平等院鳳凰堂 (p.54)、**歴史を考えよう①「平安京と京都の町を考える」** (p.56)、金閣 (p.98)、銀閣・大徳寺 (p.99)、禁門の変 (p.170)
- 大阪府：大坂城 (p.115)、大坂の安治川河口のにぎわい (p.130)、大阪紡績会社 (p.202)、阪神甲子園球場 (p.231)、大阪万博 (p.272)
- 兵庫県：姫路城 (p.118)、姫路城の城下町 (p.123)、阪神・淡路大震災 (p.280)
- 奈良県：石舞台古墳 (p.36)、法隆寺 (p.37)、正倉院宝庫 (p.45)、**地域からのアプローチ①「奈良」** (p.46)、東大寺南大門 (p.74)、柳生の徳政碑文 (p.94)
- 和歌山県：高野山 (p.51)、熊野詣 (p.66)、陸奥宗光 (p.193)

## 中国・四国

- 鳥取県：伯耆国東郷荘下地中分図 (p.72)
  - 島根県：石見銀山 (p.113)
  - 岡山県：備前国福岡市の様子 (p.73)
  - 広島県：草戸千軒町遺跡 (p.93)、原爆投下 (p.249)、**地域からのアプローチ⑥「広島」** (p.250)
  - 山口県：吉田松陰 (p.169)、四国艦隊下関砲撃事件 (p.170)、伊藤博文 (p.188)、井上馨 (p.192)、山県有朋 (p.195)
  - 徳島県：阿波国の戸籍 (p.53)
  - 高知県：長宗我部元親 (p.96)
- ※伊能忠敬『大日本沿海輿地全図』(p.144)は中国・四国地方を掲載

## 九州・沖縄

- 福岡県：大野城と水城 (p.38)、**地域からのアプローチ②「福岡」** (p.58)、博多湾に残る石塁 (p.82)、官営八幡製作所 (p.203)、炭鉱で働く労働者 (p.207)
- 大分県：大友義鎮 (p.96)
- 佐賀県：吉野ヶ里遺跡 (p.31)、有田焼 (p.117)、佐賀藩が設置した反射炉 (p.147)
- 長崎県：長崎港の様子 (p.126)、長崎貿易の様子 (p.138)、大浦天主堂 (p.181)、原爆投下 (p.249)
- 熊本県：鉄製武器 (p.34)、田原坂の戦い (p.186)
- 鹿児島県：薩英戦争 (p.170)、西郷隆盛と大久保利通 (p.187)
- 沖縄県：**歴史へのアプローチ③「琉球の歴史と文化」** (p.88)、『沖縄対話』 (p.184)、沖縄戦 (p.249)、沖縄の基地 (p.269)、**地域からのアプローチ⑦「沖縄」** (p.276)



## 北海道・東北

- 北海道：**歴史へのアプローチ④「アイヌ民族の歴史と文化」** (p.90)、松前へ交易に来たアイヌ民族一行 (p.127)、蝦夷地の開発 (p.138)、屯田兵 (p.183)、『アイヌ神謡集』 (p.184)、**地域からのアプローチ⑤「札幌」** (p.205)
- 青森県：三内丸山遺跡 (p.29)
- 岩手県：**地域からのアプローチ③「平泉」** (p.68)、原敬 (p.224)
- 山形県：米沢藩の藩政改革 (p.141)
- 福島県：会津塗 (p.129)



## 関東

### 東京都

- 身近な地域を調べよう (荒川ふるさと文化館) (p.9)、越後屋呉服店 (p.131)、明暦の大火 (p.132)、**歴史を考えよう④「江戸図屏風を読み解く」** (p.134)、**歴史へのアプローチ⑥「都市の暮らしと名所」** (p.142)、台場 (p.167)、桜田門外の変の様子 (p.169)、新橋駅 (p.176)、銀座れんが街 (p.180)、女子英学塾 (p.185)、五日市憲法 (p.186)、関東大震災の被害 (p.227)、東京・浅草六区の映画街 (p.231)、東京大空襲 (p.247)、オリンピック東京大会 (p.272)

- 栃木県：足尾銅山・田中正造 (p.207)
- 群馬県：保渡田八幡塚古墳の埴輪列 (p.34)、富岡製糸場 (p.177)、**歴史を考えよう⑤「世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える」** (p.178)
- 埼玉県：稲荷山古墳出土の鉄剣 (p.35)
- 千葉県：絵図にえがかれた椿海 (p.128)
- 神奈川県：鎌倉 (p.70)、円覚寺舍利殿 (p.75)、黒船の来航 (p.166)、外国人に生糸を売る商人 (p.168)、横浜正金銀行 (p.204)

## 中部

- 新潟県：上杉謙信 (p.96)、佐渡金山 (p.128)
- 富山県：米騒動を伝える新聞記事 (p.224)
- 石川県：**地域からのアプローチ④「金沢」** (p.150)
- 福井県：朝倉義景 (p.96)、一乗谷 (p.97)
- 山梨県：武田信玄 (p.96)、信玄堤 (p.97)
- 長野県：土偶「縄文のヴィーナス」 (p.29)、長野県の製糸工場の様子 (p.206)
- 静岡県：今川義元 (p.96)、富士川の開削 (p.130)
- 愛知県：長篠の戦い (p.114)、力織機と豊田佐吉 (p.202)





「歴史へのアプローチ」では、時代を通じた視点・グローバルな視点でみたテーマや、ポイントをしぼってクローズアップしたテーマなど、10のテーマを取り上げました。それぞれ多角的・多面的に考察する力を養い、歴史の理解を深めることができます。

近世江戸の町や人々の生活の様子を、資料をみながら再現し、考える工夫がほどこされています。名所の誕生、都市と自然の関係など、現在の観光業や環境問題を考える要素が満載です。

### 歴史へのアプローチ③ 琉球の歴史と文化

琉球王国と周辺諸国との関わりは、琉球の文化にどのような影響をあたえたのだろうか。

**琉球王国の成立**  
亜熱帯の海にかつ琉球(沖縄)の島々では、「唐(中国)と名付けられた約1万8000年前の人類をはじめ、旧石器時代の化石人骨が多く発見されている。しかし、このころの生活については不明な点が多い。地球の温暖化を経て、6000年前ごろからさんご礁が発達し、狩猟や採取とともに沿岸の魚や貝を漁獲する生活が営まれ、貝殻やジュゴン骨などの加工した生活用具やアクセサリーがつくられた。

12世紀前後になると農耕が本格化し、各地の農耕社会に城(グスク)を拠点とする有力者が現れ、勢力を争うようになった。同時に、海上貿易などを通じて、琉球諸島(鹿児島県)から八重山列島におよぶ地域が一つの文化圏としてまとまった。やがて14世紀後半になると、沖縄島には山北(北山)・中山・山南(南山)の三つの勢力が並びつら、それぞれが明に朝貢し、貿易を始めた。15世紀前半、中山の尚志が山北・山南をほろぼして沖縄島を統一し、首里(現在の那覇市)を都とする琉球王国が成立した。

**中継貿易による繁栄**  
明の海禁によって中国人の海上進出が制限される中、東シナ海と南シナ海を結ぶ位置にあった琉球王国は、明との朝貢貿易で入手した生糸・絹織物・陶磁器などを日本・朝鮮・東南アジアへと輸出し、逆に馬・硫黄(火薬の原料)・夜

**江戸時代の那覇港の様子**  
琉球の公用船は、長崎船は○、日本(薩摩)船は◇、中国船の行先であるハーリー(ポートレース)がえがかれている。

**「万歳津波」の繻と文**  
1458年につくられ、首里城の正殿にかけられた。

**徳王のかんむり**  
12本の金糸の帯に金・銀・さんご・水晶などの玉が28個縫いこまれた。

**琉球の文化外交**  
江戸時代に入り、薩摩藩(鹿児島県)の支配が開始されると、琉球は中国・日本との関係を安定的に維持する必要から文化外交に力を入れた。例えば中国皇帝の使者を組織するという独自の歌舞劇でもてなし、幕府への使節派遣の際には三銃を演奏した。その衣装には、しばしば紅型という

### 歴史へのアプローチ④ アイヌ民族の歴史と文化

アイヌ民族は、どのように周辺の世界とつながり、どのような文化をつくり上げていったのだろうか。

**アイヌ民族の世界**  
日本列島の北部には、狩猟や漁労・交易で暮らしを立てるアイヌ民族の世界が広がっていた。アイヌ民族の歴史をひもとくと、蝦夷ヶ島(北海道)を中心とした樺太文化が、オホーツク海沿岸に生息していたオホーツク文化と接触し、活発な交易をともなう新たな文化が作り上げられた。13世紀には樺太(サハリン)へ進出し、元(モンゴル)の勢力とも戦い、本州北端・蝦夷ヶ島から千島列島全域・樺太南部一帯をアイヌ民族の世界とした。

**十三湊の繁栄とアイヌ民族**  
14世紀ごろには津軽半島(青森県)の十三湊を拠点とした安藤(安東)氏が、アイヌ民族との交易で繁栄し、蝦夷ヶ島の産物であるさけ・こんぶ、毛皮などが日本海を經由し盛んに京都方面へ送られた。アイヌ社会には漆器や鉄製品など、和製品が送られた。蝦夷ヶ島南部の渡島半島には本州の人々(和入)の活動も見られたが、15世紀にはかれらを迎えよる船主と呼ばれる船主たちが現れた。船のつぎ番船の近くからは、大量の漆器が発見されており、大規模な交易が行われていたことが分かる。

15世紀半ばには、船主との交易に不満を持つアイヌ民族が、コシャマンを指導者として船主らと戦い、船を奪い取りに成功したが、最終的に敗れた。これ以後、船を守り続けた蝦夷民(のちの松前氏)が安藤氏の家臣として和入領主の筆頭となり、アイヌ民族との安定的な交易体制を築いていくこととなった。

**近世のアイヌ民族**  
近世のアイヌ民族は、南に日本、北西に中国、北東に

**アイヌ土器(左)とオホーツク式土器(右)**  
くしの葉のような文様を持つ土器と素朴な文様が特徴的なオホーツク式土器。

**十三湊と志呂岬**  
津軽海峡に面した段丘上にある「龍」として小規模の城のことで、海に面しており、海路を持つ交易拠点だったことが分かる。

**志呂岬**  
津軽海峡に面した段丘上にある「龍」として小規模の城のことで、海に面しており、海路を持つ交易拠点だったことが分かる。

**志呂岬の近くからは、三つの大塚から39万枚あまりの漆器が見つかった。**

**蝦夷ヶ島と蝦夷地**  
現在の北海道本島は、古代以来、日本から「蝦夷ヶ島」などと呼ばれた。近世には、松前・箱根など渡島半島南部を「松前地」と呼んで陸奥国内見なしし、それ以外の「蝦夷地」(千島列島南部・樺太南部をふくむ)と区分した。

「琉球の歴史と文化」「アイヌ民族の歴史と文化」では、学習指導要領でもあげられている琉球・アイヌの文化を古代から現代まで時代を通して紹介しています。

### 歴史へのアプローチ⑤ 都市の暮らしと名所

江戸の町の人々がレクリエーションを楽しむ場は、どのようにして生まれたのだろうか。

**名所の成立**  
江戸が都市として巨大化し、人口が過密になると、そこに暮らす人々は「自然」を求めようになった。また一方で、現世利益を求めた「神仏」への信仰も望むようになった。こうした人々の望みをかなえる「名所」としての「名所」が、江戸では17世紀後半から生み出されていった。そして出版文化の発達とともに、名所案内記が地域ごと、季節ごとなどさまざまな形式で発行された。特に、多くの図を用いた「江戸名所図説」や、毎月の見聞の名所や神社仏閣の歳事を紹介した「東都歳事記」は、評判となった。こうした案内記は、貸本屋などを通じて民衆にも広まり、また江戸を訪れる人々の土産物ともなった。

**「自然」を発見する**  
「四季遊覧江戸名所図説」は自然にかかわる名所・名所の案内記の一つである。近郊農村の神奈川や市川(千葉県)に至るまで、有名寺社にとどまらず、樹木屋や個人宅など

**江戸時代の那覇港の様子**  
琉球の公用船は、長崎船は○、日本(薩摩)船は◇、中国船の行先であるハーリー(ポートレース)がえがかれている。

**「万歳津波」の繻と文**  
1458年につくられ、首里城の正殿にかけられた。

**徳王のかんむり**  
12本の金糸の帯に金・銀・さんご・水晶などの玉が28個縫いこまれた。

**琉球の文化外交**  
江戸時代に入り、薩摩藩(鹿児島県)の支配が開始されると、琉球は中国・日本との関係を安定的に維持する必要から文化外交に力を入れた。例えば中国皇帝の使者を組織するという独自の歌舞劇でもてなし、幕府への使節派遣の際には三銃を演奏した。その衣装には、しばしば紅型という

### 歴史へのアプローチ⑦ 近代日本と女子留学生

近代日本において女性教育はどのように考えられ、女子留学生はその考えにどのような影響をあたえたのだろうか。

**女子留学生の派遣**  
1871(明治4)年、日本初の女子留学生が岩倉使節団に同行してアメリカに派遣された。当時、女性が母親として家庭で行う、男子への教育を重視する考えがあり、岩倉使節団での教育を充実させるためには女子の教育が必要と考えたため、留学期間10年という条件で、約60人の募集が行われた。

開拓使が募集した結果、五人の女子が選ばれ、そのうち二人は途中で帰国したが、三人が10年間の留学生生活をアメリカで送った。山川路松(1860~1919)、永井繁子(1861~1928)、津田梅子(1864~1929)である。

**帰国後の活動**  
女子留学生には、アメリカの家庭生活を学ぶことが期待されていたため、10年という長期の留学期間が設定され、年齢が低い女子が選ばれた。しかし、三人の生活の活動を見ると、それは家庭にとどまるものではなかった。津田は、女子が男子と同じように学問を学べる場として、1900(明治33)年に女子英学校(のちの津田塾大学)を創立した。山川も女子英学校の顧問・理事などを務め、津田を支えた。永井は音楽の教師として西洋音楽を日本に伝える先駆者の一人となり、退職後は女子英学校(のちの津田塾大学)で音楽教師の育成が重要視された。卒業生の多くが教職に就くことで女性の自立はもたらされた。日本の英語教育にも重要な役割を果たした。例えば、当時の英語教師が読み・書きしかたっていたことを問題視し、自然な英語を聞き、話し、読み、書きの教育を目指して、1930年代前半に「津田リーダー」や「津田英文塾」という新しい教科書を作成している。

三人の女子留学生は、政府の意図とは異なり、女性が社会進出をしていくうえで重要な足跡を残していったのである。

**岩倉使節団に同行した五人の女子留学生**  
津田梅子、山川路松、永井繁子、津田英子、津田英子

**アメリカ留学中の三人**  
津田梅子、山川路松、永井繁子

**女子英学校**  
1934(昭和9)年8月の「会報」第39号によると、卒業生1177人中274人が教職に就いている。

**津田梅子**  
6歳という若くして、津田塾大学で音楽教師の育成が重要視された。

**山川路松**  
津田塾大学の創立者。津田塾大学の創立者。津田塾大学の創立者。

**永井繁子**  
津田塾大学の創立者。津田塾大学の創立者。津田塾大学の創立者。

生徒たちと年齢に近い女子たちが、明治初年に外国へ留学し、どのような経験をし、日本に戻り、どのように活躍したかをみることで、親近感をもって歴史にふれることができます。

### 「歴史へのアプローチ」ラインナップ

- 1 中国の記録に見る日本列島
- 2 東西ユーラシアの動き
- 3 琉球の歴史と文化
- 4 アイヌ民族の歴史と文化
- 5 都市の暮らしと名所
- 6 国家とは何か
- 7 近代日本と女子留学生
- 8 日本の植民地
- 9 1920年代の日本経済
- 10 日本の領土の変遷

## 教育基本法との対応

教育基本法第2条	教科書における対応
第2条第1号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中学校における歴史教育の重要性を考慮し、とくに歴史を学ぶことを通じて社会を知り、自ら考え、自分たちの社会をつくる力を養うことのできる教科書をめざしました。</li> <li>●全体の叙述をわかりやすくし、本単元では扱いきれないものを「歴史へのアプローチ」で示すことで「幅広い知識と教養を身に付け」ることができます。</li> <li>●日本のみならず、アジア諸地域、ヨーロッパ諸国の歴史叙述を通じて、「幅広い知識と教養を身に付け」ることができます。</li> <li>●各ページにおいた多くの発問や章末の「まとめ」のページで「真理を求める態度を養う」ことができます。</li> <li>●「縄文時代の人々の暮らし」「弥生時代の人々の暮らし」(p.29、30)、「武士の日常、民衆の生活」(p.72、73)など各時代の人々の生活、社会との関わりなどを示すことをとおし、「豊かな情操と道徳心を培う」ことができます。</li> <li>●「身近な地域を調べよう」には、フィールドワーク (p.11)などを盛り込み、「健やかな身体を養う」配慮をしています。</li> </ul>
第2号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「歴史を考えよう」や「地域からのアプローチ」のページをはじめ、課題や発問をおくことで、生徒一人一人が課題を追究できるように工夫しました。そうした学習から「個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う」ことができます。</li> <li>●労働に関する記述、技術革新や産業に関する記述などから、「職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと」への配慮をしています。</li> <li>●第1章「身近な地域を調べよう」では、聞き取り調査 (p.10)などを盛り込み、「生活との関連を重視」しています。</li> <li>●「律令国家の仕組みと人々の暮らし」(p.40、41)、「産業革命と社会の変化」「富国強兵と殖産興業」「日本の産業革命と経済の発展」(p.160、176、202)、「高度経済成長」(p.270)の叙述や発問をとおし「職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う」ことに配慮しています。</li> </ul>
第3号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本や世界がかかえる現代の諸課題について、歴史的に深く考察できるような教科書をめざしました。</li> <li>●人権・差別・平等などに関する記述や、歴史を多面的・多角的に捉えた記述などをとおし、「正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んじるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」に配慮しています。</li> <li>●ハンムラビ法典やペリクレスの演説の史料 (p.18、20)では、当時の正義・責任の基本となる考え方を紹介しています。</li> <li>●御成敗式目や分国法、武家諸法度の史料 (p.71、97、121、132)では、当時の正義・責任の基本となる考え方を紹介しています。</li> <li>●「都市(町)の成長」「農村(惣村)の自治」「自力救済・徳政・一揆」などの叙述 (p.93、94)では、「主体的に社会の形成に参画」した事例を紹介しています。</li> <li>●「江戸時代の社会の仕組み」の叙述 (p.122)では、当時の「自他の敬愛と協力を重んずる」態度を紹介しています。</li> <li>●「市民革命の時代」(p.156-159)、「コラム 五日市憲法」(p.186)、「大正デモクラシーの風潮」「社会運動の高まり」「普通選挙法の制定」「歴史を考えよう⑥ 第1回普通選挙の実態を探る」の叙述 (p.223、226-229)では、「主体的に社会の形成に参画」した事例を紹介しています。</li> <li>●「身分制度の廃止と四民平等」「労働者と社会問題」の叙述 (p.173、206-207)では、当時の正義と責任について考えさせる配慮をしています。</li> <li>●「歴史へのアプローチ⑦ 近代日本と女子留学生」(p.185)、「女性参政権の実現の図版」(p.219)、「人物コラム ガートルード＝ベル」(p.221)では、「男女の平等」を重んじる態度を養う配慮をしています。</li> <li>●「歴史を考えよう⑦ 大日本帝国憲法と日本国憲法」「独立回復と日米安保条約」の叙述 (p.260-261、264-265)では、「正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと」に配慮しています。</li> </ul>
第4号 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体の叙述や図版のなかで、生命の尊さ、環境問題、災害にも視座を向ける工夫をしています。</li> <li>●「民衆の生活」「農業の発達」の叙述や信玄堤の図版説明 (p.73、92、97)、ロンドン・テムズ川 の汚染の図版 (p.161)、「人物コラム 田中正造」(p.207)、「過疎化と公害問題」「現在の日本の課題」(p.270-271、281)では、「自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと」に配慮しています。</li> <li>●「歴史へのアプローチ⑤ 都市の暮らしと名所」(p.142-143)では、「自然を大切に」する態度を養うことに配慮しています。</li> <li>●「ゲルニカ」の図版や発問 (p.242)では、「生命を尊ぶ」態度を養うことに配慮しています。</li> </ul>
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本の文化についての記述をとおし「伝統と文化を尊重」しています。</li> <li>●ユネスコの世界遺産と日本の国宝の写真にはマークを付し、見返しには日本の世界遺産を示しています。</li> <li>●「飛鳥文化」「歴史書の編さん」「コラム 日本の神話」「聖武天皇と天平文化」「正倉院宝物」「コラム 神仏習合」「国風文化と平安文学」の叙述や写真 (p.37、42-43、44-45、51、54-55)をとおし、「伝統と文化を尊重」する配慮をしています。</li> <li>●第1章「年代の表し方」(p.5)、「武士の生活」「鎌倉時代の文化」「歴史を考えよう② マンガの源流、絵巻物を考える」「室町時代の文化」の叙述や写真 (p.72、74-77、98-99)をとおし、「伝統と文化を尊重」する配慮をしています。</li> <li>●「桃山文化」「諸産業の発達」「特産物の誕生」「コラム 漆器の広がり」「儒学と諸学問」「元禄文化」「新しい学問と化政文化」「地域からのアプローチ④ 金沢」の叙述や写真 (p.118-119、128-129、133、144-145、150-151)をとおし、「伝統と文化を尊重」する配慮をしています。</li> <li>●「歴史を考えよう⑤ 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える」「文明開化と欧米文化の導入」「明治の文化と教育」の本テーマの叙述や写真 (p.178、181、208-209)をとおし、「伝統と文化を尊重」する配慮をしています。</li> <li>●世界の宗教の歴史 (p.24-25)、「ヴェルサイユ条約と国際関係」(p.218-219)、「今日の世界」「現在の日本の課題」(p.278-279、281)では、「他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」に配慮しています。</li> <li>●「歴史へのアプローチ⑥ 国家とは何か」(p.175)では「我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと」に配慮しています。</li> <li>●「歴史へのアプローチ⑩ 日本の領土の変遷」(p.266)の叙述は「我が国と郷土を愛する」態度を養うことに配慮しています。</li> <li>●グローバル化の進む現代において、日本と世界の関係についても考えることのできる教科書をめざしました。</li> </ul>

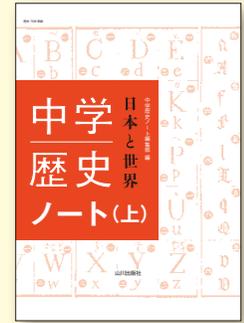
## 検討の観点

指導要領との比較検討の観点	教科書における対応
<b>中学校社会科歴史的分野で育成をめざす資質・能力</b>	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>*各時代の専門家(大学)と中学校で教える教員が、話し合いを重ねて練り上げた内容を、中学生に理解できる文章で記述しています。</li> <li>*各単元が、導入の発問→本文→ステップアップによる振り返り、という流れで統一され、知識・技能を身につける構造になっています。</li> <li>*<b>第1章「歴史との対話」</b>では、歴史を学ぶための基礎知識と、歴史の調べ方を示し、歴史学習に必要な技術が習得できる工夫をしています。</li> <li>*本文に出てくる難しい用語には同じ頁に「用語解説」や側註をつけ、生徒の理解を助ける工夫をしています。</li> <li>*グローバル化に対応し世界史分野をふやす学習指導要領の流れをくみ、世界史の叙述を充実させています。</li> </ul>
思考力・判断力	<ul style="list-style-type: none"> <li>*各単元の導入の発問、ステップアップの課題、図版に付した発問など、各所に設けた発問を自ら考え、判断する力を身につけられる工夫がされています。</li> <li>*政治史のみならず、経済・社会の側面も充実した叙述になっており、多面的・多角的な考察ができます。</li> <li>*さまざまな立場を考慮した叙述を心がけ、価値観の異なる立場の資料も取り上げています。</li> </ul>
学びに向かう力・人間性	<ul style="list-style-type: none"> <li>*基本的に見開き2頁とし、授業時間数135で無理なく学べる全体構成になっています(→パンフレットp.4-5目次と該当時間例参照)。</li> <li>*大きな紙面(AB判)を利用して図版を大きく、みやすくし、発問によって、どこに注目すべきかの示唆を与え、歴史への興味関心を呼び工夫をしています。</li> <li>*<b>p.8「身近な地域を調べよう」</b>は、実際の中学生を想定し、調査の順序、注意事項を示し、生徒が主体的に取り組むことを促す工夫をしています。</li> </ul>
<b>内容の取り扱い</b>	
ア 生徒の発達の段階を考慮して、各時代の特色や時代の転換に関係する基礎的・基本的な歴史に関わる事象を重点的に選んで指導内容を構成すること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>*教科書の構成は、学習指導要領の目標・内容に沿って、歴史の流れを理解できるようになっています。</li> <li>*各章の扉 (p.14、62、102、154、212、254)に古代・中世・近世・近代・戦間期・現代の各時代の常年表を入れ、一目でその時代の日本と世界の大きな流れが理解できる工夫をしています。</li> <li>*章末には「まとめ」の頁をおき、時代ごとの復習ができます。</li> </ul>
イ 調査や諸資料から歴史に関わる事象についてのさまざまな情報を効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につける学習を重視すること。その際、年表を活用した読み取りやまとめ、文献、図版などの多様な資料、地図などの活用を十分におこなうこと。	<ul style="list-style-type: none"> <li>*資料を多く入れることで、歴史における資料の重要性を中学生のうちから学んでもらえるよう工夫しました。資料には、発問を付し、生徒が活用できる工夫を凝らしています。</li> <li>*<b>p.56「歴史を考えよう① 平安京と京都の町を考える」</b>では、京都の地図や史料から平安京について考え、興味をもたせる工夫をしています。</li> <li>*<b>p.228「歴史を考えよう⑥ 第1回普通選挙の実態を探る」</b>では、さまざまな資料から、普通選挙の実施された当時の様子を考えさせる工夫をしています。</li> <li>*<b>p.260「歴史を考えよう⑦ 大日本帝国憲法と日本国憲法」</b>では、二つの憲法の共通点、相違点を考えさせる工夫をしています。</li> </ul>
ウ 歴史に関わる事象の意味・意義や特色、事象間の関連を説明したり、課題を設けて追究したり、意見交換したりするなどの学習を重視して、思考力、判断力、表現力等を養うとともに、学習内容の確かな理解と定着をはかること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>*本文は因果関係を意識して記述し、歴史の事象とその背景となった時代の特徴、意味や意義をわかりやすく説明しています。</li> <li>*<b>p.74の発問「鎌倉時代にどのような仏教の新しい教えが生まれ、どのように広まっていったらうか。」</b>などのように、歴史が変化する過程でおくる諸課題が、どのような時代を背景に生まれ、どのような影響をおよぼしたのかを考えさせるような発問を用意しています。</li> <li>*「歴史を考えよう」「地域からのアプローチ」では、課題や発問を付し、グループ活動をとおして意見を交換したりする力を身につけさせる工夫をほどこしています。</li> </ul>
エ 各時代の文化については、代表的な事例を取り上げてその特色を考察させるようにすること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>* p.37 飛鳥文化、p.44 天平文化、p.45 正倉院宝物、p.51 弘仁・貞観文化、p.54 国風文化、p.74 鎌倉文化、p.98 室町時代の文化、p.118 桃山文化、p.133 元禄文化、p.144 化政文化、p.208 明治の文化、p.231 大衆文化など、各時代の文化の代表例を示し、特色を考察させています。</li> <li>* <b>p.76「歴史を考えよう② マンガの源流、絵巻物を考える」</b>では、絵巻物を紹介しながら、なぜ中世に絵巻物が盛んにつくられるようになったか考えさせる工夫をしています。</li> <li>* <b>p.142「歴史へのアプローチ⑤ 都市の暮らしと名所」</b>では、都市史研究の成果を教科書に取り入れ、当時のガイドブックといってもよい名所図会をとおし、都市・娯楽・環境などを考えさせる工夫をしています。</li> </ul>
オ 歴史にみられる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、わが国と諸外国の歴史や文化が相互に深く関わっていることを考察させるようにすること。その際、歴史にみられる文化や生活の多様性に気付かせること。	<ul style="list-style-type: none"> <li>* <b>p.32「歴史へのアプローチ① 中国の記録に見る日本列島」</b>では、中国の史料にみる日本の情報から当時の交流を考えさせます。</li> <li>* <b>p.39「唐の成立と東アジアの変化」</b>では、唐の情勢や朝鮮半島の状況と日本の関係を考えさせます。</li> <li>* <b>p.68「地域からのアプローチ③ 平泉」</b>では、国風文化とともに日宋の交易も意識させる工夫をしています。</li> <li>* <b>p.88「歴史へのアプローチ③ 琉球の歴史と文化」</b>、<b>p.90「歴史へのアプローチ④ アイヌ民族の歴史と文化」</b>では、琉球とアイヌ民族がどのような歴史をたどってきたかを紹介しています。</li> <li>* <b>p.185「歴史へのアプローチ⑦ 近代日本と女子留学生」</b>では、生徒たちと年齢の近い女子たちがアメリカに留学で派遣されたことを紹介することで、国際交流を理解させるとともに、歴史を身近に感じさせる工夫をしています。</li> <li>* <b>p.200「歴史へのアプローチ⑧ 日本の植民地」</b>では、生徒が理解しにくい、日本の植民地政策をわかりやすく紹介しています。</li> </ul>

## 『中学歴史』と高校教科書との対照表

内容の取り扱い	
カ 国家および社会並びに文化の発展や人々の生活の向上につくした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産について、生徒の興味・関心を育てる指導につとめるとともに、それらの時代的背景や地域性などと関連付けて考察させるようにすること。その際、身近な地域の歴史上の人物と文化遺産を取り上げることにも留意すること。	<p>* p.52 菅原道真、p.85 足利義満、p.99 雪舟、p.105 レオナルド＝ダ＝ヴィンチとミケランジェロ、p.106 コロンブス、p.109 鄭和、p.112 フランシスコ＝ザビエル、p.114 織田信長、p.115 豊臣秀吉、p.121 徳川家康、p.132 新井白石、p.137 徳川吉宗、p.138 田沼意次、p.140 松平定信、p.141 大黒屋光太夫と高田屋嘉兵衛、p.146 大塩平八郎、p.147 水野忠邦、p.157 クロムウェル、p.158 ルイ 14 世、p.159 ナポレオン、p.161 マルクス、p.162 リンカン、p.169 吉田松陰、p.177 渋沢栄一、p.184 尚泰、p.187 西郷隆盛と大久保利通、p.188 伊藤博文、p.192 井上馨、p.193 陸奥宗光、小村寿太郎、p.194 李鴻章、p.195 山県有朋、p.199 孫文、袁世凱、p.207 田中正造、p.208 樋口一葉、p.219 新渡戸稲造、p.221 ガートルード＝ベル、p.222 桂太郎、p.224 原敬、p.233 フランクリン＝ローズヴェルト、p.237 浜口雄幸、p.240 近衛文麿、p.263 ホー＝チ＝ミン、p.265 岸信介、p.269 佐藤栄作などの 49 人を人物コラムで取り上げています。</p> <p>* p.178 「歴史を考えよう⑤ 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える」では日本の殖産興業について深く学ばせることができます。</p>
キ 歴史に関わる事象の指導にあたっては、地理的分野との連携をふまえ、地理的条件にも着目して取り扱うよう工夫するとともに、公民的分野との関連にも配慮すること。	<p>*主権者教育の観点から取り扱うように配慮された公民分野については、p.21「古代ギリシアの民主政治は、現代の民主政治とどこが異なるだろうか」、p.189「今と昔で選挙の様子はどのように変化しているだろうか」といった発問も用意しています。</p> <p>*地理的分野とも関係する日本の領土については、p.266「歴史へのアプローチ⑩ 日本の領土の変遷」で、北方領土、竹島、尖閣諸島の歴史を紹介しています。</p> <p>* p.130「コラム 富士川の開削」では、地理的分野とも関係する河川の利用について記述しています。</p>
ク 日本人の生活や生活に根ざした文化については、政治の動き、社会の動き、各地域の地理的条件、身近な地域の歴史とも関連付けて指導したり、民俗学や考古学などの成果の活用や博物館、郷土資料館などの施設を見学・調査したりするなど具体的に学ぶことをとおして理解させるように工夫すること。	<p>*ユネスコの世界文化遺産と日本の国宝の写真にはマークを付し、みてわかる配慮をしています。見返しには日本の世界遺産を示しています。</p> <p>* 7ヶ所の地域（奈良・福岡・平泉・金沢・札幌・広島・沖縄）を取り上げ、「地域からのアプローチ」を用意し、各地域から時代を通じて歴史をみる視点、民俗学や考古学の成果や活用、博物館や史跡・遺跡の紹介・活用を示しました。</p> <p>* p.9「身近な地域を調べよう」では荒川ふるさと文化館を、p.59「地域からのアプローチ② 福岡」のコラムでは九州国立博物館や長崎県松浦市埋蔵文化センターを取り上げ、博物館や郷土資料館への見学・調査を促しています。</p>
その他	
小学校との接続への配慮	<p>*全体をとおし、小学校で学んだ人物・歴史の知識をふまえ、学べるような記述になっています。</p> <p>* p.7「歴史を大きく変えた人物」では小学校で学習した人物から、時代の区分を学ばせています。</p>
高校との接続への配慮	<p>*この教科書の構成は高校の『詳説日本史』『詳説世界史』の構成に沿った流れになっており、この教科書で勉強した生徒は違和感なく高校の日本史・世界史を学ぶことができます。→次ページ『中学歴史』と高校教科書との対照表参照</p> <p>*高校の教科書で扱う資料を口語体にしたリ、ポイントを絞って示したりして、中学生に理解しやすい形で示しています。→次ページ『中学歴史』と高校教科書との対照表参照</p> <p>*高校の教科書の文体に慣れるため、「です・ます」調ではなく「である」調にしました。</p> <p>*各単元の基本の色彩を日本史と世界史でわけ、今学んでいることが日本のことか世界のことか、すぐわかるような工夫をしています。</p> <p>*近代以前と以降でも、ベースに使用する色彩をわけました。これは近代以降が高校の新科目の「歴史総合」に繋がる部分であることを意識しています。</p>
SDG's（持続可能な開発目標）を学ぶために役立つ箇所	<p><b>【全体に関わる箇所】</b> p.278 今日の世界、p.281 今の日本、これからの日本</p> <p><b>【4 質の高い教育をみんなに】</b> p.173 教育制度の改革、p.208、230 教育の普及、p.259 教育制度の変化</p> <p><b>【5 ジェンダー平等を実現しよう】</b> p.185 近代日本と女子留学生、p.206 製糸工場の実態、p.219 女性参政権、p.226 青鞥社、p.230 都市化と職業婦人</p> <p><b>【7 エネルギー／8 働きがいも経済成長も／9 産業と技術革新】</b> p.160 産業革命、p.176 殖産興業、p.178 世界遺産・富岡製糸場から日本の近代を考える、p.202 日本の産業革命と経済の発展、p.270 エネルギー革命、p.272 消費革命</p> <p><b>【10 人や国の不平等をなくそう】</b> p.156 市民革命の時代、p.162 奴隷解放宣言、p.163 農奴解放、p.186 自由民権運動と国会開設、p.205 札幌の未来と多文化共生社会を考える、p.220 アジアの民族運動、p.228 第 1 回普通選挙の実態を考える</p> <p><b>【11 まちづくり／12 つくる責任・つかう責任】</b> p.97 戦国大名の治水・灌漑工事、p.142 都市の暮らしと名所、p.151 文化財保護から金沢町屋を考える、p.161 産業革命と人々の暮らし、p.207 田中正造（公害問題）、p.270 過疎化と公害問題</p> <p><b>【15 陸の豊かさ】</b> p.160 プランテーションと自然破壊</p> <p><b>【16 平和と公正】</b> p.218 国際連盟、p.250 原爆ドームと平和公園から考えよう、p.261 日本国憲法の理念、p.262 国際連合、p.264 サンフランシスコ平和条約、日米安全保障条約</p>
カラーユニバーサルデザイン・特別支援教育への配慮ほか	<p>*地図・グラフをはじめ資料は、色覚の個人差を問わず、多くの人にみやすいようカラーユニバーサルデザインを配慮して作成しています。色彩のみでなく、線種・記号などで差をつける工夫もしています。</p> <p>*文字はユニバーサルデザインフォントを使用しています。</p> <p>*本文、図版、キャプションなど、難しい漢字にはすべてフリガナを付しています。固有名詞・歴史用語にはすべてフリガナを付しています。</p> <p>*この教科書は、環境に配慮した紙（再生紙）と植物油インキを使用しています。</p> <p>*この教科書は針金を使用しないPUR製本です。</p> <p><b>【拡大教科書】</b>を発行いたします。</p>

『中学歴史』の構成	『詳説日本史』『詳説世界史』の対応箇所 赤字＝詳説日本史、青字＝詳説世界史	高校で扱うものを平易にし掲載している資料 『中学歴史』で工夫している点
第2章1節 世界の諸文明	序章「先史の世界」 第1部 古代：諸地域世界の歴史	p.16 人類の進化、新人の広がり、p.18 ハムラビ法典、p.21 ローマ帝国の拡大地図、p.24 仏教の広がり地図など
第2章2節 日本文化のあけぼの	第1部第1章 日本文化のあけぼの	p.35 稲荷山古墳出土鉄剣の銘文 p.28 縄文人の暮らしの様子、p.30 稲作の様子、p.35 須恵器と窯などで、視覚的にイメージをもたせる工夫をしている。
第2章3節 律令国家の形成	第1部第2章 律令国家の形成	p.36 十七条の憲法、p.37 遣隋使の派遣、p.38 改新の詔、p.40 律令国家の仕組み、p.41 人々の負担、墾田永年私財法
第2章4節 貴族政治と国風文化	第1部第3章 貴族政治と国風文化 *1「平安京と弘仁・貞観文化」は詳日の2章	p.55 寝殿造の屋敷
第3章1節 中世社会の成立	第2部第4章 中世社会の成立	p.71 御成敗式目、御成敗式目制定の意図、p.73 阿氏河荘荘民の訴状 p.70 御恩と奉公、p.71 承久の乱の図、p.72 武士の館では、視覚的にイメージをもたせる工夫をしている。
第3章2節 武家社会の成長	第2部第5章 武家社会の成長 *1「モンゴルの襲来と鎌倉幕府への失望」は詳日の4章	p.83 永仁の徳政令、p.84 二条河原落書、p.94 村掟、正長の徳政一揆、山城国一揆、p.97 分国法
第4章1節 一体化へ向かう世界	第3部第7～8章 近世	p.105 ルターの95 提題 * p.78「歴史へのアプローチ② 東西ユーラシアの動き」で詳説世界史第2部にあたる中世の世界がどのような世界であったかを紹介している。イスラームとヨーロッパの対立・融合のなかでルネサンスが生まれていくことを理解させることができます。
第4章2節 近世社会の成立	第3部第6章 幕藩体制の確立 1 織豊時代 2 桃山文化	p.114 楽市令、p.116 刀狩令 p.116 検地の様子など、図版で詳しく説明し、理解を深める工夫をしている。
第4章3節 幕藩体制の確立 第4章4節 幕藩体制の展開	第3部第6章 幕藩体制の確立 3 幕藩体制の成立 4 幕藩社会の構造 第3部第7章 幕藩体制の展開	p.123 農村法令、田畑永代売買の禁止令、p.124 外交に関する禁令、p.131 江戸時代の交通、p.131 主な貨幣
第4章5節 幕藩体制の動揺	第3部第8章 幕藩体制の動揺	p.139 百姓一揆の推移、p.141 寛政の改革への風刺、林子平「海国兵談」
第5章1節 欧米諸国の近代化と日本への接近	第3部第9～12章 近代	p.157 権利の章典、独立宣言
第5章2節 開国と幕末の動乱	第4部第9章 近代国家の成立 1 開国と幕末の動乱	p.167 日米修好通商条約 p.168 「金貨流出の仕組み」では、開国による経済的影響を理解させる工夫をしている。
第5章3節 立憲国家への道	第4部第9章 近代国家の成立 2 明治維新と富国強兵 *6「憲法制定と帝国議会」は詳日の9章3節	p.172 五箇条の誓文、p.173 学制序文、p.186 民撰議院設立の建白書
第5章4節 日清・日露戦争とアジア	第4部第13章 帝国主義とアジアの民族運動 第4部第9章 近代国家の成立 3 立憲国家の成立と日清戦争 4 日露戦争と国際関係	p.193 福沢諭吉の脱亜論 p.197 生徒に親しみの深い「蛍の光」をとおして、日本領土の歴史を考えさせる工夫をしている。
第5章5節 近代日本の産業と文化	第4部第9章 近代国家の成立 5 近代産業の発展 6 近代文化の発達	p.202 綿糸生産量と輸出入高の推移、p.204 貿易額の急増、p.206 小作地率の変化、p.208 就学率の変化
第6章1節 第1次世界大戦と日本	第4部第14章 二つの世界大戦 1～3節 第4部第10章 二つの世界大戦とアジア 1 第一次世界大戦と日本 2 ワシントン体制 3 市民生活の変容と大衆化	p.214 第一次世界大戦中のヨーロッパ地図、p.215 第一次世界大戦での日本の動き地図、p.218 第一次世界大戦後のヨーロッパ地図、p.221 第一次世界大戦後の西アジアとパレスチナ、p.223 民主主義、p.226 労働争議・小作争議の推移
第6章2節 国際協調の崩壊	第4部第14章 二つの世界大戦 4節 第4部第10章 二つの世界大戦とアジア 4 恐慌の時代 5 軍部の台頭	p.238 満州事変の広がり地図 p.238 満州事変前の東京大学の学生に対する意識調査のグラフをとおし、当時の若い学生たちがどう思っていたか、それはなぜかなど考えさせる工夫をしている。
第6章3節 第二次世界大戦と日本	第4部第14章 二つの世界大戦 5節 第4部第10章 二つの世界大戦とアジア 6 第二次世界大戦	p.243 第二次世界大戦中のヨーロッパ、p.245 太平洋戦争（ともに重要なところをわかりやすく示している）
第7章1節 戦後の日本と国際社会	第4部第11章 占領下の日本 第4部第12章 高度成長の時代 第4部第15章 冷戦と第三世界の独立	p.258 日本国憲法、p.266 サンフランシスコ平和条約、p.268 日韓基本条約、p.269 日中共同声明
第7章2節 新たな時代の日本と世界	第4部第16章 現在の世界 第4部第13章 激動する世界と日本	p.278 主な地域統合・地域協力、p.280 1980・90年代の地価と株価の推移



※紙面は開発中のものです。

第4章 5節 幕藩体制の動揺

## 2 田沼時代と社会の変化

教科書 P.138-139

教科書の叙述に沿って前後関係をわかりやすくまとめています。見出しは教科書にそろえており、①・②といった番号も一部を除いて教科書の段落に応じて置いていますので、授業の進行に便利です。

解答欄が計20個(行)になるようにしています。授業前後の確認テストでもご使用が可能です。

教科書の重要語句を中心に空欄を設けています。理解してもらいたい内容(文章)を空欄にしている箇所もあります。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩
- ⑪
- ⑫
- ⑬
- ⑭
- ⑮
- ⑯
- ⑰
- ⑱
- ⑳

### 田沼時代

- ① 老中(①)の政治  
18世紀後半、10代将軍(②)の下で財政再建を試みる
- ② 政策
  - a 広く(③)を結成させる  
→ 特権を認めて運上・冥加の上納を増やす
  - b (④)の実施(⑤)・鉄・朝鮮人参を対象  
→ 流通を統制して利益を独占
  - c 新田開発の奨励(⑥)の干拓など  
→ 年貢の増収を図る
  - d (⑦)の増産  
→ 金・銀にかわる長崎貿易の輸出品とする
  - e (⑧)の開発計画  
→ ロシアとの交易を検討
- ③ 田沼時代の終わり
  - a (⑨)の発生: 冷害や(⑩)噴火で大凶作
  - b 社会の混乱: 各地で(⑪)や(⑫)が続発
  - c 政治手法への批判(⑬)が横行
  - d (⑭)が亡くなる→(①)の解任

### 村と町の変化

- ① 百姓の貧富差の拡大
  - a 地主(⑭): 土地を買い集め、商業も営む  
→ 商品生産や文化の新しい手として成長
  - b (⑮)・貧農: 土地を手放す  
→ 都市に出かせぎに行く者も現れる
- ② 商品生産の活発化
  - ① 新たな生産方法の広まり
    - a 村や町で(⑯)による生産が増大
    - b (⑰)による大量生産の始まり  
→ 織物業(尾張の木綿や桐生の絹)で展開
  - ② (⑱)を中心とした経済圏の形成  
(⑲)周辺の織物・しょう油・酒などの生産地が繁栄  
→ 従来の(⑳)中心の市場をおびやかす
- ③ 農村と都市の変化
  - a 都市(㉑)・(㉒)では下層民が増える
  - b 農村 耕作者の減少で荒廃する農村が増える

月	日	組	番	名前
---	---	---	---	----

### 百姓一揆と打ちこわし

- ・行動の形態
- a (⑩)
  - 年貢・課税の軽減や不正を行う代官の交代を要求、団結して城下町におし寄せる
  - b (⑪)
  - 都市の庶民が米を買いしめた商人の家屋などをこわす
  - c (⑫)
  - 村で村方三役らの不正を追及

Q① 田沼意次は幕府財政の再建のためにどのような政策を行ったのだろうか。

Q② 18世紀後半になると幕藩体制の基礎である村と町はどのように変化したのだろうか。

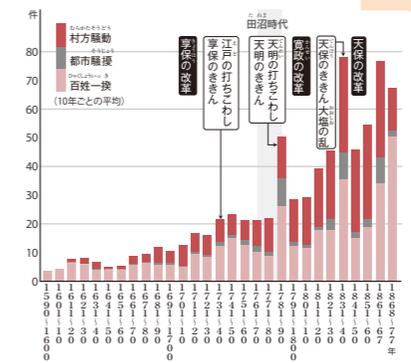
### 挑戦してみよう

百姓一揆の推移のグラフを見て、幕府や諸藩の政策や社会の変化から、百姓一揆や打ちこわしが増加していった理由を考えてみよう。

- ① 百姓一揆が増えていく背景には、幕府や諸藩のどのような政策があったのだろうか。(→教P.140)
- ② ききんの際に打ちこわしが増えるのはなぜだろうか。
- ③ 村方騒動が増えていく背景には、農村のどのような変化があったのだろうか。

### ステップアップ

どのような政策や社会の変化が、百姓一揆や打ちこわしを増加させたのだろうか。「挑戦してみよう」で答えたことを基に、まとめてみよう。



教科書の冒頭に置いている発問を掲載しています。この発問に取り組むことで、教科書の内容を簡潔に理解することができます。

教科書に黄色い枠で囲まれている発問をピックアップして掲載しています(一部、ノートオリジナルの発問もあります)。

教科書に書かれているステップアップに対応しています。教科書の内容をこえた深い学びが可能です。

ノートをご採用いただきますと、解答入りのPDFデータをサービスでおつけいたします。

第4章 まとめ 近世の日本

教科書 P.152-153

用語 Check!

1 14~16世紀にかけてイタリアの都市を中心に西ヨーロッパ各地に広まった、ギリシア・ローマの文化を再生させようとする運動を何というか。

2 教皇や教会ではなく、聖書の教えを基に新教徒を何というか。

3 17~18世紀を中心に、ヨーロッパのあいだで行われた貿易を何というか。

4 トルコ系民族を中心に成立し、1453年(コンスタンティノポリス)をほろぼした帝国は何をいうか。

5 16世紀にイラン高原で成立し、独自のイラン文化を発展させた帝国は何をいうか。

6 中国の歴代王朝で行われ、明の洪武朝から清の乾隆朝まで続いた試験制度を何というか。

7 ポルトガル・スペインの貿易が始まった地域を何と呼ぶか。

8 織田信長が、安土の城下町などで認めた法令を何というか。

9 太閤検地において、実際の耕作者名を登録する原則を何というか。

10 豊臣秀吉が、1592年に15万人を率えた、最初の朝鮮侵略の出兵を何というか。

11 琉球から伝わった三味線を伴奏する楽器を何というか。

12 江戸幕府が将軍の代わりごとに任命した家臣を何というか。

13 本百姓の経営をできるだけ安定させるために、江戸幕府が土地の分割相続を制限した制度を何というか。

14 江戸時代初期、海外貿易を盛んにするために発行した渡航許可証を何というか。

15 キリスト教の禁教を徹底するために、寺に証明させた制度を何というか。

16 江戸幕府が海外情報を得るために、

まとめ頁のうち、2頁は問一答形式の問題で構成されています。

時代ごとの特徴を理解できるように、まとめ頁を章ごとに6頁ずつ設けています。

月 日 組 番 名前

ヨーロッパやアジアの情勢の報告を何というか。

17 松前藩との交易の不満を原因として、1669年に戦いを起こしたアイヌ民族の指導者はだれか。

18 いわしを原料とした干鰯など、金銭を支払って購入する肥料を

※紙面は開発中のものです。

3 近世の日本は、世界とどのようにつながっていたらう

●キリスト教に関して、以下の事項をまとめてみよう。

Table with 2 columns: 日本に伝来した背景, 広まりを示す文化, 織田信長・豊臣秀吉の態度

●四つの窓口での世界との交流をまとめてみよう。

Table with 5 columns: 長崎, 対馬, 薩摩, 松前. Rows: 交流の相手国(民族), 窓口の支配者, 江戸に派遣された使節, 幕府による統制手段

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

4 近世の日本において、経済や文化はどのように変化したらう

●次の商品の生産と流通をまとめてみよう。

Table with 4 columns: 主な生産地, 生産や加工の発展, 利用のされ方. Rows: 綿花, 絹織物, 俵物, 銅

●江戸時代には庶民も旅行に出かけられるようになった。その理由をいくつかの視点から説明してみよう。

経済面では、活発な経済活動を背景に、旅行をするゆとりが生まれた。

交通面では、(8)が

文化面では、寺社参詣などを口実にして、湯治や観光を楽しむ風潮が生まれた。

1 2 3 4 5 6 7 8

5 社会や経済の変化に対して、幕府はどのように対応したらう

●幕府が行った改革や政策の内容について、比較・整理して表にまとめてみよう。

Table with 5 columns: 政治担当者, 村や百姓に対する政策, 町や町人に対する政策, 武士に対する政策, 諸外国に対する政策. Rows: ねらい, 内容

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21

まとめ頁のうち、4頁は教科書のまとめ頁に書かれている問題を、より解答しやすいように掲載しています。

ノートをご採用いただきますと、解答入りのPDFデータをサービスでおつけいたします。



# 中学歴史 日本と世界 教師用指導書 歴史708準拠

B5判・上下巻・各300頁(予定)・本体14,000円(予価)・付属データ集DVD-ROM付

『中学歴史 日本と世界』を使った授業に便利な、用語や図の解説、授業実践にご利用いただける材料を盛り込みました。授業前にご確認いただくのに非常に便利な1冊です。詳しい内容は別冊「中学歴史教科書 教師用指導書のご案内」がごさいます。

## 〈指導書の内容〉

教科書の編集方針・特色、特集ページ案内／高校社会科と連携した歴史の授業への導き／指導計画／見返し解説／学習指導案・内容解説

### 第2章 1節 人類の誕生と進化

p.16-17

**本時の目標**

○人類が進化することで、できるよくなったことを説明する。具体的には、人々が身体を進化させつつ生活環境に適応していったことを、打製石器とその発達をとおして理解させる。そして、自然環境に手を加えることで農耕・牧畜を開始し、人類が国家・文明をつくりだしたことを理解させる。

**学習指導案**

単元	発問	設問例	◎留意点 留意事項
導入	チンパンジーと人類の違いは何だろうか。	言葉、火、道具の使用… (pp.3)	○人類の発進についての見出しから、読みかかせる
展開	A 猿人・原人・旧人・新人の関係を整理しよう。	A (pp.3) <b>◎ポイント</b> 猿人・原人・旧人・新人は、それぞれ異なる種族の人類の祖先を指している。猿人は現代の人類の祖先ではない。原人は現代の人類の祖先である。旧人は現代の人類の祖先である。新人は現代の人類の祖先である。	○教科書の「人類の進化」の見出しから、読みかかせる
	B 打製石器はどのように改良され、どのような進化を遂げたのだろうか。	B 打製石器、石核石器(薔薇)、磨片石器(石刀・石鏃)、磨石(石臼)の改良。打製石器は、石核石器や磨片石器の改良によって、より多様な用途に使用された。石核石器は、毛皮をはがしたり、肉を切ったり、骨を砕いたりするのに使われた。また、磨片石器は、狩猟の槍先に使われた。大規模の狩りに使われた。	■石器時代について理解する(知識・技能) ○教科書の打製石器の発進について見直す ○打製石器の発進の特色を資料から読み取る(知識・技能)
まとめ	C 人類の進化は精神面にもどのような変化をもたらしたのだろうか。死者が埋葬されたのはなぜだろうか。	C 死者を埋葬することで、亡くなった人への敬意を示すようになった。また、死者の埋葬は、死者の死後生活の準備を促す役割を果たした。死者の埋葬は、死者の死後生活の準備を促す役割を果たした。	■人類の精神面の変化について思考・判断する(思考力・判断力・表現力等)
	D 1万年前には農耕が開始された。人類はどのようにして食料を確保したのだろうか。	D 農耕や牧畜など自然環境に手を加えることで食料を安定して確保しやすくなった。また、農耕や牧畜(薔薇)は、石臼・石臼・石臼、織物、土器などを発明した。農耕や牧畜は、食料を安定して確保しやすくなった。また、農耕や牧畜(薔薇)は、石臼・石臼・石臼、織物、土器などを発明した。	○教科書の「農耕と牧畜の始まり」の見出しから、読みかかせる
まとめ	E 磨片石器は打製石器に比べてどのような進化を遂げたのだろうか。土器はどのように使用されたのだろうか。	E 磨片石器は、打製石器に比べて、より多様な用途に使用された。土器は、貯蔵や調理などに使用された。土器は、貯蔵や調理などに使用された。	○教科書の「磨片石器の発進」について見直す
	F 農耕・牧畜が始まることで、どのような変化が起こったのだろうか。	F 農耕や牧畜の開始により、食料の確保が安定した。また、農耕や牧畜(薔薇)は、石臼・石臼・石臼、織物、土器などを発明した。農耕や牧畜は、食料を安定して確保しやすくなった。また、農耕や牧畜(薔薇)は、石臼・石臼・石臼、織物、土器などを発明した。	○時代により変わる(知識・技能) ■社会科と連携して学習する(思考力・判断力・表現力等)

この図は、人類の進化に伴って石器がどのように改良されたかを示しています。AからFまでの段階で、石器の形状と用途が変化していることがわかります。

**コラム「最先の人類」**

チンパンジーやボノボはヒトと同じ部族ヒト科に分類される大型類人猿である。チンパンジーとヒトの遺伝子は約98%同じとする研究結果もある。サヘントロプスは発見された猿骨から推定が下すに及びており直立できた可能性が高い。直立二足歩行は類人猿とヒトを区別する基準の一つである。そのほか、道具や火、言葉の使用があげられることが多い。

**○人類の進化**

猿人に属するアウストロロピテスは、南アフリカのタウングで発見された。約400万年前に出現し直立二足歩行を行い、脳容量は500ccであった。猿人に属するホモ・ハビリス、ジャワ原人、北京原人である。約200万年前に出現したホモ・ハビリスは、タンザニアのオールドヴァイ峡谷で発見された。同じ地域からは礫石器が見つかった。約100万年前に出現したジャワ原人はジャワ島のトリニールで発見された。約50万年前に出現した北京原人は北京郊外の周口店で発見され、10万年前の打製石器、薔薇や骨の跡も残っていた。ネアンデルタール人は旧人に属し、ドイツで発見された。彼らは磨片石器を制作し、石器を木の柄に装着し骨鏃を作った。また、獲物の皮をから衣類をつくり、洞穴を居所とした。埋葬の習儀がけつて、洞窟壁画も描いたとされる。

考えさせる方法もある。また、教科書に情報がなく空欄となった箇所について調べさせたり、人類の特徴をより整理できる新しい図解(例えば、脳の容量や骨格の特徴などの身体的特徴)を考えさせたりすると学びに向かう力を育成する効果的学習となる。

特徴	猿人	原人	旧人	新人
(自由産地)	自由産地	自由産地	自由産地	自由産地
(石器)	磨片石器	打製石器の改良	打製石器	打製石器をさらに改良
(獲る方法)	火の使用	火の使用	火の使用	火の使用
(葬習)	死者の埋葬	死者の埋葬	死者の埋葬	死者の埋葬
(各地との交流)	(新しい情報)	アフリカから世界各地に移民		

**○打製石器**

猿人段階では、ほとんど自然石と変わらない。一つの石片の一部を持ち打ちつけてくる礫石器(写真1)であったが、猿人段階になると、石片を全面的に加工して形をくり、槍頭(ハンファクス、写真2)にできるようにした。このような石片は、獲物の骨や皮の処理に用いられ、さらにネアンデルタール人は、石片を削ってできる道具を、さらに細かくし磨きながら、ナイフやせり棒の形をつくり出す磨片石器という高度な石器製造技術をもつようになった。新人に属するクロマニオン人は、石の面に鋭く打撃を加え、多数の石片を製造した。このような磨片石器は、毛皮をはがしたり、肉を切ったり、骨を砕いたりするのに用いられた。やがて、新人は石片を細かく加工し、木器や骨角器と組み合わせて使用する礫石器を生み出した。礫石器は投げ槍の槍先にも使用され、大規模の狩りに使用された。

**○ネアンデルタール人の埋葬**

イタリ北部のヴァンダーグラーブでは、人骨の周りから複数の花の花粉が発見された。死者に花を手付けたからだと考えられる。また、片首・片手を持った男性の人骨には長期の治療の跡があった。ネアンデルタール人たちは病者や高齢者の世話をしていた可能性がある。

**○ラスコーの洞穴壁画**

一匹の犬と子どもたちが発見された。全長200mの洞穴に600以上の動物や鳥の頭をもつ人物などが描かれている。スナイのアルトマラ洞窟の絵画と並ぶ旧石器時代の洞穴壁画の遺跡である。洞窟は1940年に発見されたが、一般公開され大勢の観光客が訪れるまで、人の出入りによる影響が懸念され1963年に閉鎖された。

**○見返しの解説**

人類の進化は、手・足・顔などの動物は、彼らの身体に存在していた。またこれらを背景の対象とした人類にとって、動物は生きるとして、非常に重要な役割を担っていた。動物は狩りの対象となった動物を定期的に食べたり、農耕に使用する動物や道具の材料としても使われてきた。

えさせたい。授業の最後に、ネアンデルタール人の集団狩猟などの最新の研究を紹介する。また、クロマニオン人と遺骨で、現在の15~4%の遺伝子がネアンデルタール人由来のものであることが明らかにされたことなども伝えてはどうだろうか。

**○礫石器**

使用石片が豊富なものの場合には刃先があり、きわめて鋭利なものとなる。刃先が少ないため取り回しが大変であり、例えも磨き直しして使用している。石片は樹木の皮や土器に、石臼は穀物や木の皮をすりつぶし、骨をひくのに用いた。

**○打製石器**

打製石器は、磨片石器の改良や火の使用によって、より多様な用途に使用された。打製石器は、磨片石器の改良や火の使用によって、より多様な用途に使用された。

**○土器**

世界の各地の新石器文化に見通して見られる土器で、陶器化による赤色や黒色、または白色で簡単な模様や動物を描いている。メソポタミアやエジプト、インドにも見られ、さらに中国文明の影響もそれにあたる。用途に関しては、煮炊や貯蔵以外にも、神への献儀にも用いられた。

**○国家・文明の成立**

余剰作物により人口増加や畜産業の活性化により都市が成立した。交易などによって貿易の差が生じ、農耕や戦争、祭祀における指導者への権力集中により、王、神官・役人、農民、奴隷などのさまざまな身分が生み出された。同時に、戦いによる領域などの概念も生まれた。支配者は国家をとおして多くの人々を指導しながら、文明を発展させていった。

**○見返しの解説**

農と漁を源かし製造したものが青銅である。銅を融合することで硬くなり、硬固などの加工ができた。また木炭を使った原始的な炉で鍛造できた。

**○見返しの解説**

本単元をまとめる「人類ができるようになったこと、発明したもので、最も重要なことは何であるか」という問いをテーマとして、グループで話し合ってもらいたい。打製石器の改良、磨片石器の改良、農耕や牧畜の開始、国家文明の形成のグループに分かれ、教科書以外の資料をもとに、最も重要な理由を各グループでまとめる。その後、三つのグループから人ずつで構成された三人の班を組ませる。各班では、各グループの主張を説明し、人類にとって最も重要な変化・発明を改めて考える。最後に、打製石器の改良、磨片石器の改良、農耕や牧畜の開始、国家文明の形成のグループを戻り、グループの主張に对其他のグループの意見を紹介し、改めて、最も重要な人類の発明について、各自で再検討する。

**○ステップアップ**

農耕や牧畜の開始というのの重要性をどう思うか。

**○見返しの解説**

農耕と牧畜が始まる。人が狩猟を止めて、食料や家畜を多く暮らす人々となり、そうでない人々の間に貧富の差が生じた。また農耕や牧畜の開始、骨をつくる人々に権力が集中した。こうして王や神官、役人などの階級や職能などを支える階級や職能という階級が生まれた。

1 世界の文明 5

本時の目標、学習指導案、解説、授業のアイデア、発問の答え、ステップアップ課題の答え、参考文献など授業に便利な内容です。

## 〔付属データ集 DVD-ROM〕収録コンテンツ一覧

- ①教科書データ(紙面 PDF & 本文 Word)
- ②教科書掲載地図・図版データ(JPEG)
- ③準拠テスト例(Word)
- ④一問一答(Excel & Word)
- ⑤準拠ノート(PDF & Word)
- ⑥教師用指導書データ(PDF\*) \*テキスト抽出可能
- ⑦授業用スライド(PowerPoint)
- ⑧ワークシート(Word)

## ③準拠テスト例

- Word
- 教科書の単元ごとに作問
- さまざまな出題形式
- 図版問題や短文記述問題も含む



授業プリントや演習問題の作成に便利なコンテンツに加え、電子黒板・プロジェクターで投影できるコンテンツも収録し、先生方の授業準備や教材研究をサポートいたします。

見本はこちら



1 ルネサンスと宗教改革

次の文章を読み、問いに答えなさい。

5世紀、ヨーロッパは中世と呼ばれる時代になった。東ヨーロッパのa **ビザンツ帝国**では、(A)を国の宗教とし、皇帝が中央集権的支配を行っていた。西ヨーロッパでは、カトリック教会が力をもち、カトリック教会の首長である(B)が強い権力を握った。しかし、イェルサレム巡遊を目的とした(C)などで東方との交流が行われる中、b **委ねられたギリシア・ローマの文化を再生させようとする新しい文化運動**が生まれた。14世紀から16世紀にかけて盛んになったこの運動を(D)という。(D)は西ヨーロッパ各地に広がり、多くのe **新しい学問や技術**・d **芸術**を生み出した。

16世紀初め、ドイツの(E)がe **宗教改革**でカトリック教会を批判し、宗教改革が始まった。教皇や教会ではなく、聖書の教義のみを信じる新教徒は(F)と呼ばれ、西ヨーロッパに急速に広まった。これに対し、カトリック教会は内部の改革に取り組み、新たにf **イエズス会**が創設されて活動するようになった。

- 空欄(A)～(F)にあてはまる語句を答えなさい。
- 下線部aの首題で、アジアとヨーロッパの交易で栄えた都市はどこか。
- 下線部bの運動で、人々の精神はどのように変化したか。次の2つの絵を参考にしながら答えなさい。



- 下線部cに関して、この新しい学問や技術の説明として、選んでいるものを1つ選び、記号で答えなさい。
  - ア. 羅針盤が改良され、遠洋への航海が可能になった。
  - イ. 木版印刷が発明され、印刷物が安く大量に作られるようになった。
  - ウ. 鉄砲や大砲などの火器が発達し、戦術が変化した。
  - エ. 天文学が発展し、地動説が発表された。

- 下線部eに関して、この新しい学問や技術の説明として、選んでいるものを1つ選び、記号で答えなさい。
  - イ. 町年寄・町名主などは御家人がとめた。
  - ウ. 町人は共同の運営費である町人用を負担した。
  - エ. 地借・店借は町の運営に関わらなかった。

の仕組み

問いに答えなさい。

武士・百姓・町人などに分かれた身分制度が、社会の仕組みの基本とな

の改革

幕府は内憂外患と呼ばれる状況に直面した。内憂は、a **米の消費地を打つた**ことによることである。1837年、b **大坂の乱**が起こり、幕府は内憂外患を打つた。さらに、海岸防衛を理由として、江戸や大坂府は、1825年に(A)を出し、c **欧米列強の軍艦や捕鯨船の来航**がくり返されたことである。幕府は、(A)を打ち、d **欧米列強の軍艦や捕鯨船の来航**を禁止する方針を決めた。この(B)が政治改革に取り組み、これをe **天保の改革**という。これによって、商人には(D)・冥加と呼ばれる営業税などが課せられた。

(D)にあてはまる語句を答えなさい。

次の問いに答えなさい。

秋田藩の身分別の人口割合。グラフ中の空欄(X)にあてはまる語句の組み合わせを1つ選び、記号で

Y. 百姓	Z. 町人
Y. 武士	Z. 町人
Y. 武士	Z. 百姓
Y. 町人	Z. 武士

町人の他に、住む場所や服装などが別限され、ほかの身分の人々から差別を受けた理由を、簡単に説明しなさい。

する説明として、適切なものを1つ選び、記号で答えなさい。

りなど、おたがい助け合うことを誓い、もやいという。

災などは奇合で互いに相談した。

に、武士の領地である人衆地が置かれた。

た者には、村八分などの厳しい制裁が加えられた。

幕府は、(A)を出したのか。簡単に説明しなさい。

(1808年米騒動) ② モリソン号(1837年米騒動)

次の問いに答えなさい。

批判した蘭学者を1人答えなさい。

府の方針を批判した人々が弾圧された。この弾圧を何というか。する説明として、適切なものを2つ選び、記号で答えなさい。

め、出版規制をおこなった。

困米をさせた。

- 大名に米を上納させるかわりに、参勤交代の負担を緩和した。
- 最上藩内に蝦夷地の調査をさせた。
- 物産を安定させたため、株仲間を解散した。

※制作中につき、内容や体裁は変更になる場合がございます。

# 中学歴史 授業用スライド&ワークシート

※教師用指導書に付属するDVDに収録されております。

## 7 授業用スライド

PowerPoint (電子黒板・プロジェクター用)



- 教科書の単元ごとに作成
- 要点を整理し、学習のポイントを明示
- 問題発見・解決のプロセスを考慮した内容

第1節  
2 古代文明の始まり

導入 古代文明のおこり  
古代文明が栄えた場所の特徴は何だろうか？2点挙げてみよう。

1 メソポタミア文明①  
楔形文字が発明され、さまざまな文書を記録するために用いられた。

1 メソポタミア文明②  
紀元前18世紀に全メソポタミアを統一したハンムラビ王は、「ハンムラビ法典」をつくり、法に基づく支配を行った。

2 エジプト文明③  
象形文字の一種である神聖文字(ヒエログリフ)が発明され、紙であるパピルスも発明された。

2 エジプト文明②  
ピラミッドはどのようにつくられたのだろうか？

2 エジプト文明①  
エジプトでは、ナイル川の流域でエジプト文明が栄えた。  
→ナイル川の定期的なはんらんにより豊かな農作物にめぐまれた。

1 メソポタミア文明③  
教科書18ページの史料を読んで考えよう。  
①この法典で刑罰の基本になる考え方は何だろうか？  
②身分によって刑罰はどのように異なるだろうか？

2 エジプト文明④  
エジプト文明で他にどのようなものが発達したのだろうか？

3 インダス文明①  
現在のインド北西部では、インダス川の流域でインダス文明が栄えた。

モエンジョ=ダロとはどんな遺跡だろうか？

3 インダス文明②  
インダス文字と呼ばれる象形文字が使用されていたが、いまだに解読されていない。

3 インダス文明③  
紀元前1500年ごろ、侵入したアーリア人によってバラモン(司祭)を頂点とする身分制度を生み出した。これはのちのカースト制度の基となり、今も残っている。

古代文明は、それぞれどのような特徴を持っていたのだろうか？  
メソポタミア文明では、2つの大河に挟まれた地域で、世界最古の文字である( )文字が生み出された。  
エジプト文明では、王( )のもとで早くもエジプト全土が統一された。  
インダス文明では、( )に見られるように、計画に基づいて整然と( )が整備された。

## 8 ワークシート

Word (学習者用)



- 授業用スライドにあわせた内容
- 思考・判断・表現を重視した授業の補助教材
- 授業展開に応じてカスタマイズ可能

2 古代文明の始まり

導入 古代文明のおこり  
古代文明が栄えた場所の特徴は何だろうか？(2点挙げてみよう)

1 メソポタミア文明  
教科書18ページの史料を読んで考えよう。  
①  
②

2 エジプト文明  
ピラミッドはどのようにつくられたのだろうか？  
エジプト文明ではほかどのようなものが発達したのだろうか？

3 インダス文明  
モエンジョ=ダロとはどんな遺跡だろうか？

問題

1 古代文明が栄えた場所を下の地図にまとめた。下の地図のA~Dに該当する文明の名前を書きなさい。

A ( ) 文明 B ( ) 文明  
C ( ) 文明

2 A~Dの文明で発明された文字を、下の資料を参考にしてそれぞれ答えなさい。  
【図表:p.18 ハンムラビ法典】  
【図表:p.19 ヒエログリフ】  
【図表:p.19 インダス文字】  
A ( ) 文字  
B ( ) 文字  
C ( ) 文字

3 ユキオさんは、古代文明について調べたことを発表しました。次の発表内容の( )にあてはまる語句を書きなさい。  
アジアやアフリカの( )のほとりでは、( )が発達し、たくわえた食料をめぐる争いから、やがて( )ができました。  
( )を仰ぐ( )が権力をにぎり、神聖な力が作られました。それぞれの文明では( )が発明され、記録するために用いられました。

# 中学歴史 指導者用デジタル教科書 歴史708準拠



先生がパソコンや iPad で開いた教科書紙面 PDF から、さまざまな教材を授業で投影できる、先生用のデジタル教科書です。画面上の、関連するポイントにリンクがはられており、先生はリンクのマークをクリックするだけで、発問の Q&A や、教科書には掲載されていない写真・図版、リンク先の動画を、生徒に見せることができます。先生の手もとの画面には解説もついており便利です。

**冒頭の発問①**  
どのように荘園が全国的に広まっていったのだろうか。

10世紀 地方豪族や有力農民が、開墾地を上級貴族や大寺社に寄進  
↓  
荘園が成立

11世紀後半 政府の財政難  
↓  
貴族や寺社に荘園を与えた  
↓  
全国的に荘園が広まっていった

**Question**  
荘園が変わることは、その地に暮らす農民の生活にどのような変化をもたらしたのだろうか？

**Answer**  
税を納める相手が国衙から**荘園領主（貴族や寺社）**へ変化した。

## 先生用解説

立荘された土地は荘園となり、それ以外の土地は公領(国衙領)となった。荘園領主から政府へは税が送られていないことや、荘園にしる公領にしる、農民は現地の有力者に対して税を納めていることに注目。

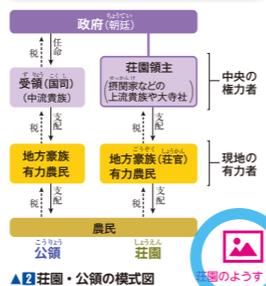


## 1 荘園の成立と武士の登場

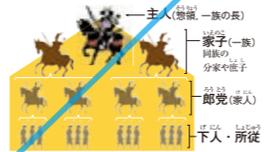
どのように荘園が全国的に広がっていったのだろうか。  
① 貴族が東国で大きな力をにぎることができたのはなぜだろうか。

▶ **1** 都での儀式の様子 武装して警備にあたる者も見られる。『年中行事絵巻』 田中家藏

▶ **2** 荘園が変わることは、その地に暮らす農民の生活にどのような変化をもたらしたのだろうか？



▶ **3** 荘園・公領の様式図



▶ **4** 武士の家の構造

**用語解説**  
**公領** 古代には公地公民が原則で、全ての土地は公の地とされたが、そのうち荘園化しなかった土地。国衙の管理下に置かれたので国衙領ともいう。荘園が最も増えた中世でも、荘園と公領の面積比はほぼ1:1であった。



**「荘園の形成」** 8世紀に成立した荘園の多くは間もなく衰退したが、10世紀になると、それにかわって、中世につながる新しい**荘園**が登場してきた。

地方の豪族や有力農民の一部は、国衙から一定の期間、税を免除されて山野の開墾に乗り出したが、その中から、より有利な条件を求めて開墾地を領主(荘園領主)とあくが荘園が成立し、開発者自身は荘園現地の役人(荘官)となって、さらに土地の開墾を進めた。

荘園の中には、荘園領主の権威を背景に、政府から税の免除(不輸)を認めたらう荘園が増え、やがて収税を確保しようとする国衙との対立が激しくなると、国衙の役人の立ち入り認めない不入の特権を得る荘園も多くなっていった。その結果、11世紀後半には中央に送られる税が減少し、貴族の給与や大寺社の運営費を支えなくなった政府は、そのかわりに荘園をあてたので、荘園はますます増加した。

こうして全国の土地は公領と荘園に分かれたが、いずれもその内部では、現地の有力者が開墾地を拠点に地域の支配を進めていった。

**「地方の反乱と武士の成長」** 9世紀末から10世紀にかけて盗賊や海賊の活動が活発化すると、京都の中級・下級貴族のうち、特に弓矢や馬などの武芸に優れた者が国司などに任命されて鎮圧に当たった。かれらの中には任期が終わってもそのまま現地にどまり、有力な**武士(兵)**として勢力を広げていく者もあった。かれらの子孫は一族や従者を率いて、たがいに戦いをくり返し、ときには国司にも反抗した。

一方、地方の豪族や有力農民たちも、自分の土地を守るために武装し始めた。かれらは地方にとどまった国司の子孫などを中心に結集し、やがて大きな**武士団**に成長していった。



**Answer**  
桓武平氏

**Question**  
関東で力を持っていた武士団は、どの一族だろうか？

## 先生用解説

関東に桓武平氏が多い。また、桓武平氏以外も含め、関東に多くの武士団が生まれていることがわかる。蝦夷との戦いに備えるため、桓武平氏以外にも関東に多くの武士団。



**Question**  
早くから東国(東日本)に住み着いた国司の子孫で、下総(茨城県)を根拠地にしてた平将門は、国司と対立して、939(天慶2)年に反乱を起した。西国(西日本)でも同じころ、元伊予(愛媛県)の国司であった藤原純友が、瀬戸内海を率いて反乱を起した。これらの反乱はいずれも武士によって平定された(天慶の乱)。

この乱を通じて武士の実力を知った朝廷や貴族たちは、かれらを宮中や都の警備、貴族の身辺警護などに当たさせた。また、地方でも武士の一部は国司の下に組織され、国内の治安を守る存在となった。

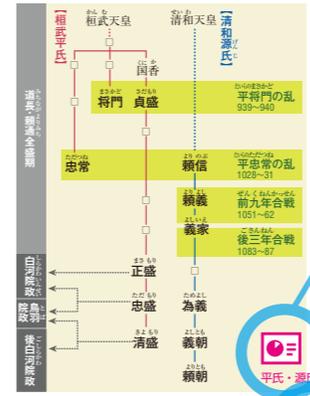
**「源氏・平氏の進出」** 有力な武士は、都と地方を行き来しながら、双方に拠点を築いていった。11世紀になると、都で活動する武士の多くは、次第に天皇の血を引く源氏(清和源氏)と平氏(桓武平氏)によってしめられるようになり、地方でもかれらに従う武士が増加した。その結果、源平両氏は、多くの武士団を束ねる武家の棟梁として、広く知られるようになった。

11世紀前半に上総(千葉県)で平忠常の乱が起こると、源氏はこれを鎮圧して、東国進出のきっかけをつかった。また11世紀半ばに陸奥の国司に任命された源頼義は、子の源義家とともに、現地で勢力をふるっていた豪族の安倍氏をほろぼした(前九年合戦)。さらに義家は、安倍氏にかわって勢力をのびた清原一族の争いに介入し、これを制圧した(後三年合戦)。このうち東北地方では、義家の支援を受けた清原(藤原)清衡とその子孫(奥州藤原氏)が、北方との交易や金・馬などの産物によって大いに栄えた。その根拠地であった陸奥の平泉(岩手県)には、中尊寺金色堂に代表されるはなやかな仏教文化が根付いた。

東国に進出した源氏に対して、平氏は12世紀初めごろ、瀬戸内海を海賊平定で活躍するなど、主に西国に勢力を広げていった。



▶ **2** 二つの合戦後、東北地方で奥州藤原氏が繁栄できたのはなぜだろうか？



▶ **3** 地方の武士をまとめる棟梁に求められた条件とは何だったのだろうか？

**用語解説**  
**棟梁** もともとは建物の重要な部材である棟と梁の意味だが、そこから転じて、ある集団の中で重要な地位にある人物を棟梁と呼んだ。特に武士団の指導者を指すことが多く、武家の棟梁ともいった。

**ステップアップ**  
荘園や武士の発生により、国衙の役割はどのように変化したのだろうか？

## 5種類のリンクをご用意しています

- Q & A** 教科書の発問とその解答。解答を導くために、何枚かの画面で段階をふんでいるものもあります。表などで示しているものもあります。赤字部分は消すこともできます。
- 写真** 教科書本体にはなく、授業でみせると視覚的にわかりやすい写真を投影できます。解説もついています。
- 動画** おもに NHK for School の動画を見せることで、生徒の理解を深めます。
- 地図・図版** 教科書の地図や図版をさらに詳しく示した図や、本文の内容に関連する図を投影できます。
- HPのサイト** 資料館・博物館・美術館など、本文の内容に関係し、授業に適したサイトに遷移することができます。

**Question**  
地方の武士をまとめる棟梁に求められた条件とは何だったのだろうか？

**Answer**  
天皇の子孫という、高貴な血筋。

## 先生用解説

一番上に注目。桓武平氏は桓武天皇、清和源氏は清和天皇の子孫。

# 『中学歴史』トータルサポート



教師用  
指導書

→ p.28 参照

授業の下準備に

あわせて使ってさらに充実の授業



教師のための豊富な教材

映像  
音声  
写真集

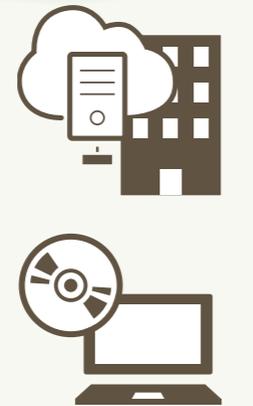
→ p.36

ムービー  
中学の歴史



中学歴史写真集  
県版  
中学歴史写真集

中学校  
音の社会科



教科書  
完全準拠  
データ

教科書  
テキスト  
W

一問一答  
W&E

授業用  
スライド  
pptx

→ p.30 参照

準拠  
テスト例  
W

地図  
図版

教師用指導書  
付属データ集 → p.29 参照



学習者用  
デジタル教科書

準拠  
ノート  
上・下

→ p.24 参照



指導者用  
デジタル教科書

## 学習者用デジタル教科書 (教科書としての扱い)

- 教科書の PDF 版です。画面上で自由に拡大・縮小できます。
- 学習者用デジタル教科書は、学習者用ライセンスをご購入いただくと、山川出版社が運営する山川 WEB ライブラリ (WEB サイト)\*からダウンロードすることが可能になります。
- 学習者用デジタル教科書には、教科書の二次元コードのかわりにデジタルコンテンツへのリンクボタンが設定されており、ボタンを押下すると山川 WEB ライブラリに登録された動画や画像をご利用いただけます。

体験版 (PDF) の  
ダウンロードはこちら



## 指導者用デジタル教科書 (教材としての扱い) → p.32 参照

- 指導者用デジタル教科書は、指導者用ライセンスをご購入いただくと、山川出版社が運営する山川 WEB ライブラリ (WEB サイト) からダウンロードすることが可能になります。
- 指導者用デジタル教科書には、教科書紙面にデジタルコンテンツへのリンクボタンが設定されています。ボタンを押下すると発問の Q&A、写真や動画、地図・図版などさまざまなデジタルコンテンツをご利用いただけます。

体験版 (PDF) の  
ダウンロードはこちら



## 指導者用デジタル教科書のご利用イメージ



- 1 会員登録
- 2 ライセンスコードの入力
- 3 デジタル教科書のダウンロード
- 4 デジタルコンテンツの利用

※イメージ画像です



先生

### \* 山川 WEB ライブラリとは

ビューワーによる教科書紙面の表示だけでなく、先生や生徒一人ひとりが必要とするデジタルコンテンツ (教材) や情報を提供するための専用 WEB サイトです。

- ・「教師用指導書」付属データ集に含まれるデジタルコンテンツは山川 WEB ライブラリにも登録されています。
- ・山川 WEB ライブラリに登録されたデジタルコンテンツには、ダウンロード可能なコンテンツもあります。
- ・ダウンロードしたコンテンツは、授業準備やテスト問題の作成、授業での投影などご自由にお使いいただけます。

2021年  
スタート

# 中学校向け映像・音声教材

## ムービー中学の歴史

監修／全国中学校社会科教育研究会

本体価格：20,000円（税別）

DVD 2 枚組 各 30 テーマ

### ◆解説書付

- 歴史の授業に役立つ映像資料を厳選
- NHK の映像を教材として再編集
- 1 項目 1 ～ 3 分程度で授業の導入にも最適



## ムービー中学の歴史 増補版

監修／全国中学校社会科教育研究会

本体価格：20,000円（税別）

DVD 2 枚組 各 30 テーマ

### ◆解説書付

- ムービー中学の歴史の増補版
- 世界史および現代史の映像資料が充実



## 中学校 音の社会科

監修／全国中学校社会科教育研究会

本体価格：18,000円（税別）

CD 3 枚組

disc1：日本史 50 テーマ

disc2：日本史 11 テーマ＋世界史 31 テーマ

disc3：地理・公民 51 テーマ

### ◆解説書付

- 歴史・地理・公民の3分野を網羅
- 伝統的な芸能、日本や世界の事件報道、歴史を変えた政治家の演説などを収録



山川出版社

〒101-0047 東京都千代田区内神田1-13-13  
TEL03-3293-8131 FAX03-3292-6469

※ホームページにも詳しい情報が掲載されています。是非ご覧下さい。  
<https://www.yamakawa.co.jp/>